

男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第4次）～

令和 5 年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

目次

- ◆ はじめに . . . 1
- ◆ 1 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制 . . . 1
- ◆ 2 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法 . . . 3
- ◆ 3 事業評価スケジュール . . . 4
- ◆ 4 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの
提言・要望 . . . 5
- ◆ 令和5年度事業一覧 . . . 7
- ◆ 事業評価シート No.1～48

はじめに

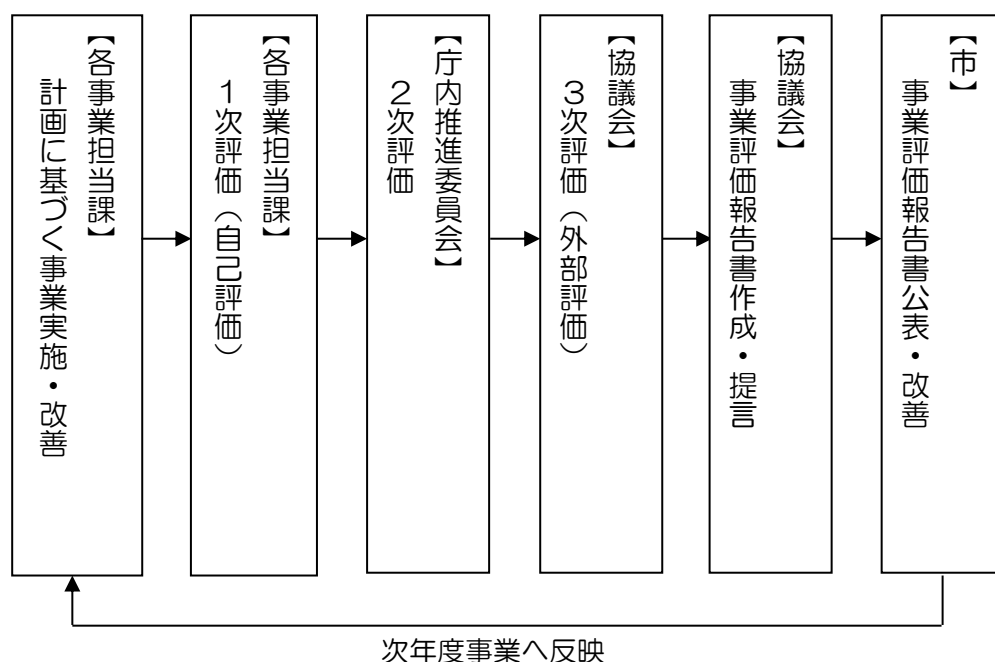
今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

茂原市では、令和3年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第4次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しています。外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

この「令和5年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

1. 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制

◆ 茂原市男女共同参画計画 推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（庁内組織）１６名

茂原市男女共同参画計画（第４次）に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女１名ずつ選出された委員で構成される委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏 名	所 属	役 職
今関裕貴	総務部	委員
渡辺紗奈		委員
三浦颯月	企画財政部	委員
白鳥武久		委員
中村竣	市民部	委員
東間典子		副委員長
富田昌浩	福祉部	委員
田中和志		委員長
石橋蓮	経済環境部	委員
元吉真優花		委員
古田潤弥	都市建設部	委員
安藤桂子		委員
高井勇喜	教育部	委員
永島貴子		委員
内山貴弘	議会・農業・選管・監査	委員
大和久愛	会計 本納支所	委員

【任期１年：令和６年４月１日～令和７年３月３１日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）１０名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏 名	役 職	区 分
大塚 節子	会長	学識経験者
丸岡 一人	副会長	一般公募
藍 正幸	委員	関係諸団体の代表者
森川 礼子	委員	関係諸団体の代表者
及川 哲子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
上村 俊一	委員	一般公募
横堀 明子	委員	一般公募
寺田 三千代	委員	一般公募

【任期２年：令和５年４月１日～令和７年３月３１日】

2. 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第4次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として48事業を掲げ、34事業について指標（数値目標）を設けています。計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価（外部評価）を行い、「令和5年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
1次評価（総合評価） 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第4次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u> を実施 	【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた （達成度 8 割以上） B：ある程度の成果を上げた （達成度 4 割～7 割） C：事業の見直しが必要 （達成度 3 割以下）
2次評価（総合評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】 （市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により <u>2次評価</u> を実施 	【項目評価基準】 4：十分達成している （90%以上） 3：概ね達成されている （70%以上）
3次評価（総合評価・項目評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】 （外部組織） 推進委員会の評価後、「事業評価シート」により <u>3次評価（外部評価）</u> を実施 	2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上） 1：不十分である （50%未満）
事業評価報告書を作成し、市へ提出	

3. 事業評価スケジュール

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

- ◆第1回（令和6年6月17日開催）
 - ・委員長、副委員長の選出
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第2回（令和6年6月20日開催）
 - ・令和5年度事業評価

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

- ◆第1回（令和6年8月28日開催）
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第2回（令和6年10月8日開催）
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第3回（令和6年11月25日開催）
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第4回（令和6年12月13日開催）
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第5回（令和7年1月9日開催）
 - ・令和5年度事業評価
- ◆第6回（令和7年2月12日開催）
 - ・令和5年度事業評価

4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

(1) 事業評価結果と今後について

令和5年度は多くの事業において、コロナ禍での経験を踏まえ適切な感染症対策を行い、概ね達成することができました。各担当課の皆さんの努力の成果と敬意を表します。

幸い令和5年度も災害による被害は少なく、行政、市民生活等に大きな影響はありませんでしたが、年々増加している災害や感染症の影響も踏まえてさらなる事業の見直しが必要とされています。オンラインやSNSの利用など、取り入れたことは継続し、新たに工夫して取り入れていくことも必要と考えます。

令和5年度事業評価について、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようにお願いします。

(2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

千葉県は「男女共同参画」に関する条例が唯一ありませんでしたが、令和6年1月に「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」が施行されました。目指す社会の一つに「男女のいずれもが、性別を理由とする不利益を受けることなく、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、共に活躍している社会」とあります。

令和6年度はその趣旨にそって県は予算を付け、多くの事業を展開しています。当市も県の動向を注視しながら、連携して推進していくことを望みます。

令和7年度は当市の男女共同参画計画（第5次）の策定に向けて協議に入ります。令和3年度から6年度の事業評価を踏まえ、また社会情勢も踏まえて検討を重ね、より良い計画を目指します。

「男女共同参画社会」を実現するには、行政だけでなく、企業、各団体、そして市民が一体となり取り組むことが不可欠です。意識は徐々に浸透してきていますが、依然として政策・方針決定の場や社会・家庭環境等で男性優位の傾向が見受けられますので、引き続き男女共同参画を正しく理解し、意識の啓発をすることが望まれます。

女性も一歩踏み出し、自ら行動する意思を持ち、すべての人々と協力して生きていく姿勢が求められています。

(3) 「男女共同参画推進室」の設置について

昨年度同様、再度、要望します。

「男女共同参画社会づくり」は21世紀わが国における最重要課題の一つです。SDGs（持続可能な開発目標）においても、「ジェンダー平等の実現」は世界が取り組むべき目標の一つとして掲げられています。茂原市においてもその実現のため行政と「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」と「ハートフルフェスタ実行委員会」による意識啓発のための講演会の開催などにより推進に努めてきました。少しずつですが、変化を感じられるようになってきました。

現在、DVや児童虐待等が増加し、貧困はより進み社会問題となっています。これらの諸問題に対し男女共同参画の視点を持ち、関係する課が連携してスムーズに対処できるよう、各課を繋ぐ役割をする「男女共同参画推進室」の設置をお願いします。県で、男女共同参画

の趣旨を含んだ条例が施行され、今後県の方針等も具体化していくと思われます。「男女共同参画社会」をさらに実現するためには、多様な分野に渡る課題について、対応をする「男女共同参画推進室」の設置が必要です。今まで手が届かなかった企業や事業所、教育現場、地域社会に向けた啓発活動の充実も図っていく必要があります。

茂原市をさらに魅力ある先進的な自治体にするために、是非ご検討くださるようお願いいたします。

令和5年度事業一覧

A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）
C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	B
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	C	C	C
3	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	B
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	B	B	B
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	A
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	A	A	A
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	B	B
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	B	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	子育て支援課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	学校教育課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
10	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
11	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
12	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
13	高齢者の虐待防止	高齢者支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
14	関係機関との連携の強化	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	B	B	B
15	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
16	市女性職員の登用の推進	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
17	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	B
18	市民活動における男女共同参画の促進	生活課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-2 地域社会における男女共同参画	III-2(1)地域における男女共同参画の促進	B	B	B
19	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	C	B
20	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	B	B
21	乳幼児相談・健診事業の充実	健康管理課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	A

事業 No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次 評価	2次 評価	3次 評価
22	子育て支援に関する情報提供	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
23	子育てに関する相談業務の充実	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
24	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	生活課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
25	多様な働き方を支援するための保育 サービスの拡充	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
26	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	A	B
27	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援の 充実	B	B	B
28	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援の 充実	B	B	B
29	市民へのワーク・ライフ・バランスの 推進	企画政 策課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	B	B	B
30	事業所へのワーク・ライフ・バランス の推進	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	B	B	B
31	市職員へのワーク・ライフ・バランス の推進	職員課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	A	A	B
32	男女雇用機会均等や育児・介護休業に 係る法制度の周知とポジティブ・アク ション（積極的改善措置）の促進	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の 均等と職場環境の整 備・改善	B	B	B
33	就労を希望する女性の再チャレンジ支 援	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の 均等と職場環境の整 備・改善	A	B	B
34	農業における女性グループ活動の支援 と女性起業家の育成	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営 業等における男女共 同参画の促進	C	C	B
35	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営 業等における男女共 同参画の促進	A	A	A
36	高齢者の自主活動への支援	高齢者 支援課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	B	A	B
37	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉 課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	A	A	B
38	障害者（児）の相談事業の充実及び社会 復帰の促進	障害福祉 課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	A	A	A
39	精神保健相談の実施及び社会復帰の支 援	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	A	A	B
40	男女共同参画の視点を取り入れた防災 対策の充実	防災対 策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	A	A	B
41	自主防災組織の育成	防災対 策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	B	B	B
42	地域防犯体制の充実	生活課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	A	B	B
43	自らの健康を自ら管理する意識づくり についての啓発	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B
44	人生の各段階に応じた健康相談と家庭 訪問の実施	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B
45	市民参加の健康づくりの推進	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	A	B	B

事業 No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次 評価	2次 評価	3次 評価
46	スポーツを通じての健康増進	体育課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
47	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	A
48	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ－2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ－2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	A

	1次 評価	2次 評価	3次 評価
A 十分な成果を上げた（達成度8割以上）	17	15	8
B ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）	29	31	40
C 事業の見直しが必要（達成度3割以下）	3	3	1

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育及び意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(1) 人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	補佐 石井 直美	内線番号	7251

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さ等を伝えます。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ、豊かな人権感覚を身に付けてもらえるよう教育委員会に依頼するとともに、児童生徒の作品展示を通して、市民の人権尊重意識の啓発に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

- ①市内小学校における人権教室の実施
②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼
③夏期学童クラブへ人権紙芝居の実施

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①小中学校における人権教室実施 10/19(木)東部小学校(1年生84名参加)、10/23(月)豊田小学校(1年生42名参加) 11/28(火)茂原中学校(1年生131名参加) ②人権ポスター (小学校12校:370点参加) 人権作文(中学校2校:81点参加) ③人権紙芝居の実施 8/2(水)夏期茂原学童70名、8/18(金)東郷第1学童40名、8/18(金)東郷第2学童50名 その他の啓発活動として、小中学校1年生に人権冊子「種をまこう」等を配布し、人権尊重意識の醸成を図った。また、相談日程を掲載したポスターを作成し、公共施設内に掲示し、人権相談の周知を図った。	3回	257名		
	R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		

0

0

0

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和され、各事業が実施できたこと。 (課題・問題点) 冊子の配布以外に実施できる啓発方法を検討する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	小中学校の人権教室・人権紙芝居を実施し、身近な問題として考える機会を提供するとともに人権尊重の意識を広めるため、引き続き啓発活動を行っていく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画していた各事業が実施できた。 (課題・問題点) さらに人権尊重の意識を広めるため事業を充実させるとともに、啓発方法を検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
計画していた各事業は概ね実施できている。		
改善策等の提言		
市として、人権擁護委員会に任せただけでいいのか。他市町村の取り組みをもっと参考にしてみよう。発想を変えてこれまでと違う方策を提起してみよう。以前より提言しているが、せっかく生徒全員がタブレットを持っているのだから、それを使っての方法を取り入れてはどうか。 (参考意見) 子どもの人権教育に当たる大人が、時代の要請によって変化している法令や社会常識の変化を学び続けることを怠ったまま旧態依然たる「人権教育」を行っていないか、時代の変化を読み取れない大人が、複雑な社会に生きる子ども達に、適切な概念や形式の「人権教育」を行っているかを、根本的に振り返ってもいい時期ではないかと思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	2	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 古山 茂生	内線番号	7635

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、職場におけるセクハラ・パワハラ防止について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	職場におけるセクハラ等防止について、茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行います。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①関係機関と連携を図り、講習会等の機会を利用しセクハラ等防止に向けた意識啓発を図る。 ②セクハラ等の防止に関する情報提供のため、市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットを配布し周知に努める。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
開催に至らなかった。		0	0		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
セミナー等の開催 0回		0回	1回		
R5予算額(千円)	R5決算見込額		R6予算額		
0	0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) セミナー等の開催をしていない。 (課題・問題点) 第4次計画に定められた具体的取り組み計画では情報提供や講座・研修等への参加を促進するとしており、セミナーの開催等を行うものとなっていないので、PDCAサイクルが展開できるものとなっていない。なお、ハローワークや商工会議所が行うセミナー等の周知はSNSを用いて行っている。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	情報発信を行っていく。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 数値目標に掲げたセミナー等の開催がなされていない。 (課題・問題点) セミナーの開催など計画の在り方を再検討する必要がある。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
数値目標に掲げたセミナー等の開催がなされていない。		
改善策等の提言		
数値目標が年1回以上のセミナー等の開催を行うとなっている。確かに具体的な取組計画の中にはその文言はないが、これは商工会議所等の関係機関に働きかけて共催で行うというふうに考えるのが良いと思う。単独での開催は無理があるので市の力添えが必要と思われる。昨年度は参加者が少ないながらも一度開催されている。オンラインセミナーも考えてはどうか。職場でも受講できるのではないか。 (参考意見) 茂原市内にある企業の多くは小中企業であり、セミナーなどに参加する時間などの余裕はないと思う。商工会議所やハローワークでのセミナーなどの参加には企業評価に関係してくると思われるので参加数は多くなると思う。市役所主催でなくても商工会議所やハローワークと共催または市役所後援という形でも良いと思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 人権の尊重
事業名	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発
担当者職氏名	主事 田中 梨華子	内線番号	7415

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き、啓発チラシの配布・設置、また講座等の開催により、市民への情報提供に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	LGBT等(性的少数者)に対する理解を深め、当事者に対する偏見や差別意識をなくし、すべての人が多様な個性を尊重し合い、豊かで安心して生活できるよう、LGBT等に対する正しい情報提供や理解促進のための啓発を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	性の多様性に関する啓発 年1回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国、県等から、LGBTに関するパンフレットを取り寄せ、市民の目につきやすい場所に設置する。 ②市主催の講演会のテーマとして設定できるよう、検討する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①県が作成したLGBTに関するパンフレットを取り寄せ、市役所内に設置するとともに、茂原市立図書館で男女共同参画週間に関連図書と併せて設置した。 ②講演会のテーマについては、ハートフルフェスタ実行委員会で検討した結果、他のテーマ(認知症と性差)に決定した。 ③その他 千葉県男女共同参画地域推進員事業の、LGBTについての勉強会に担当職員が出席し、事業報告会(出席者は、県内の担当職員と地域推進員)で内容を共有した。		1回			
		0回			
		1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
性の多様性に関する啓発 1回		3回	1回		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) パンフレットの設置、研修会への担当職員の出席にとどまっているため。 (課題・問題点) パンフレットの設置により、どの程度の人目に情報が触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるのか、効果を測ることが難しい。アンケート調査の実施等により、市民への周知度、市民への理解度の把握が必要。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、啓発チラシの配布・設置、また講座等の開催により、市民への情報提供に努める。また、男女共同参画への市民意識調査を実施し、LGBTに関する理解度を調査した上で、効果的な啓発方法を検討する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
パンフレットを設置し研修に参加したが、事業評価が不明確である。
(課題・問題点)
SNSの活用など効果的な啓発方法を考える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

パンフレットの設置、研修会への担当職員の出席にとどまっている。

改善策等の提言

前年度に他市町村の取り組み調査をしたが、それが取り入れられてない。以前から言われているように、若い世代の周知をはかること、教育現場と連携した取り組みも必要。「改善」欄には、自己評価であげた課題・問題点に沿った施策が提言できている。市民意識調査に基づく啓発方法の検討は確実に実施されたい。講演会を行い、少人数でも関心を持って貰うことが重要と思う。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(2)相談体制の拡充
担当者職氏名	補佐 石井 直美	内線番号	7251

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、毎日実施している法務局の人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性のホットライン1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会の定期総会(5月)、部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月)) ④市民相談

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会5/18(木) 全委員研修会11/30(木)) ④市民相談(毎日) ⑤人権週間のポスター掲示及びチラシの配布、女性の人権ホットライン等のポスター掲示		24回	2件(法務局で実施している相談等は非公開)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
1135		2,815		1,133	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各相談機関等との連携強化により適切に繋ぐことができたこととポスターやチラシの掲示や配布することにより、相談窓口の周知に努めた。 (課題・問題点) 今後も相談事業の広報等充実させるとともに、各相談機関等と連携し、日常生活における様々な問題や悩みごと等の解決を図っていく。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	市公式ウェブサイトや広報等により相談窓口の周知を行っているが、より効果的な周知・広報となるよう更なる見直しを行っていく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
 具体的取り組み計画にある事業を実施し、相談に対応できた。
 (課題・問題点)
 より多くの人に相談窓口を知ってもらえるように、効果的な周知方法を検討する。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

具体的な取組は概ね達成されている。

改善策等の提言

相談件数が2件ということは悩み事や相談が少ないとみるのか、この事業が知られていなくて利用しないのか、検討する必要があると思う。相談者が相談しやすいか場所が分かりやすいか、担当者が親身に寄り添っているのか、相談事がたらい回しになっていないか等も同じく。検討はしたのでしょうか。周知・広報の見直しをされたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童・生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	学校教育課	施策の方向	(2) 相談体制の拡充
担当者職氏名	主幹 佐藤 都史子	内線番号	7929

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スクールカウンセラー配置校 現計画の中に12校 ・心の教室相談員配置校 現計画の中に4校
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・スクールカウンセラー(県事業)在校日の拡充

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①児童生徒からの相談に対して傾聴し、一人ひとりの心に寄り添いながら、個に応じた対応を心がけた。 ②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。 ③全小中学校に配置されたスクールカウンセラーの在校日が増え、相談体制が充実した。 【補足】スクールカウンセラー在校日について 各小学校 月1～2回 (R4は月1回であった学校の内、2校が月2回に変更) 各中学校 週1回					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
スクールカウンセラー配置校 18校		・19校	・19校		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) これまでスクールカウンセラーが未配置の小学校では、中学校区で連携しサポート体制をとっていたが、市内全校に配置となったことで、児童生徒や保護者へカウンセリング等の相談体制が充実した。また、事案に対する学校内の連携や、支援チーム体制の構築・支援に携わることで支援体制の充実につながった。 (課題・問題点) 児童生徒の精神的なケアの観点から、在校日を増やすことが必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) スクールカウンセラーの全校配置により、相談体制や支援体制が充実した。 (課題・問題点) スクールカウンセラーの在校日を増やすための具体的な取り組みを検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
スクールカウンセラーの全校配置ができ、相談体制や支援体制が充実した。		
改善策等の提言		
引き続き、スクールカウンセラーの在校日を増やせるよう県と検討されたし。予算を付けることも検討されてはいかがか。今後は相談内容に沿った課題整理を行うことが必要と思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市民向け講演会や講座等の開催	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進
担当者職氏名	主事 田中 梨華子	内線番号	7415

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続きハートフルフェスタ実行委員会と協働して、市民が興味を持てるようなイベントの開催および内容の検討を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共同参画に関する講演会や講座等を開催するとともに、県や関係機関との連携を図り、市民に対する意識啓発をします。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加してもらえるよう努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・講演会・講座等の開催回数 年2回以上 ・参加者数 年150人以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、市民が興味を持ちやすいテーマで男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・ <u>無</u> ）					
内容		回数	参加者数（男女別）		
講演会を2回実施。 ①10月1日(日)「認知症と性差」講師：天野恵子氏(静風荘病院 特別顧問、元千葉県東金病院副院長) 女性と男性でかかりやすい病気、または症状の違いについて説明していただき、男女がお互いを理解し支え合うことの重要性を、市民の方に理解していただく機会を作ることが出来た。 ②10月31日(火)「身近な問題への対処～どうするあなた？～」講師：二階堂高史(行政書士) 財産管理、遺言・相続、空き家対策、墓じまいなど、多くの人が関係する問題について、男女共同参画の視点からお話いただいた。		2回	①85名(男性17名、女性66名、回答無し2名) ②75名(男性28名、女性47名)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・講演会・講座等の開催回数 2回 ・参加者数 160名		・1回 ・4人	・2回 ・75人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
50		50		50	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 開催回数、参加者数ともに数値目標を達成したため。 (課題・問題点) どちらの講座も、参加者は全員50歳以上で、70歳代が大部分を占めていた。幅広い世代の方に参加してもらい、男女共同参画についての理解を広める必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、ハートフルフェスタ実行委員会と協働して、幅広い市民の方が興味を持てるテーマを検討する。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 講演会を実施し、目標とした参加者数を達成した。 (課題・問題点) 幅広い年代のより多くの人に参加してもらえるように講演のテーマや開催日時を検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
講演会を実施し、目標とした参加者数を達成した。		
改善策等の提言		
幅広い世代に参加してもらうための方策を検討する必要がある。参加者は少なくなるかもしれないが、年代別に絞って講座を分けてみるのも良いと思う。例えば高校生などと共同で行うことも考えてみては？講演会の日程を見直してはどうか。講師の都合もあると思うが10月に2回行われている。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進
担当者職氏名	主事 田中 梨華子	内線番号	7415

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共同参画に関する意識啓発のための、情報紙やパンフレット、男女共同参画の視点からの表現ガイドラインをあらゆる機会に配布するとともに、広報もばら・市公式ウェブサイト等を活用して情報発信に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	意識啓発パンフレット等の配布 年2回 6,000部以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国、県等から男女共同参画関連のパンフレット等を取り寄せ、市民の目につきやすい場所に設置する。 ②広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧等を利用し、男女共同参画について情報発信に努める。

D O (実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①国、県等が作成したパンフレット、イベントのチラシ等を公共施設に設置した。 ②男女共同参画に関する講演会(2回)の開催にあわせて、広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧で、茂原市取り組みを紹介した。 ③その他 県から男女共同参画啓発パネルを借りて、図書館で男女共同参画パネル展を行った。(内容:男女共同参画ってなに?、男女共同参画の歩み、千葉県男女共同参画計画について、固定的性別役割分担意識に関するクイズ など)		①5回以上 ②2回 ③1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
意識啓発パンフレット等の配布 5回以上 6,000部以上		5回9000部以上	5回9000部以上		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成した。パネル展を実施できた。 (課題・問題点) 事業番号3同様、どの程度の人の目に情報が触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるのか、効果を測ることが難しい。アンケート調査の実施等により、市民への周知度、市民への理解度の把握が必要。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

情報発信やパンフレット・イベントチラシの設置を行ったが事業効果が不明確である。

(課題・問題点)

事業効果を把握する手段について検討が必要。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

啓発活動は評価が難しいが、担当者と推進委員会と同意見。

改善策等の提言

本施策の効果を図ることは難しいが、施策効果を図ることは必要である。機会をとらえてアンケート調査を行い市民への認知度、市民の理解度の調査を行うことが求められる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重		
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり		
課係名	職員課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進		
担当者職氏名	主査 坂本信太郎	内線番号	7431		

ACT
(改善)

R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲

管理職以外のハラスメント研修を実施する機会を設けられるよう、対象者を狭めない集合型研修やオンライン研修を検討していく。

PLAN
(計画)

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図ります。

第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 年1回以上
R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

・ハラスメント防止研修を行い、職員の意識啓発に努める。

DO
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)

内容	回数	参加者数(男女別)		
令和6年2月7日(水)、6級以上職員対象の管理職員研修において、ハラスメント研修の実施。 講師:株式会社 巧 萩原 晶子 氏 内容:ハラスメントについて	1回	63名(男50名・女13名)		

R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施	1回	1回		
R5予算額(千円)	R5決算見込額		R6予算額	
100	0		100	

CHECK
(評価)

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)
管理職へのハラスメント研修を実施した。管理職以外を対象とした研修については、新規採用職員を対象とした研修において実施しようとしたが、開始日程と講師の調整が折り合わず未実施となった。
(課題・問題点)
幅広い世代に対して意識の向上を図ることが重要であると考えているが、業務との調整が必要となる。

ACT
(改善)

担当課による、次年度における取り組み予定

管理職以外の職員に対してハラスメント研修を実施する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

研修を開催したが管理職のみであった。

(課題・問題点)

幅広い世代の意識の向上を図ることができるように研修の在り方を検討する。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

推進委員会に同じ。

改善策等の提言

一般職員も研修を行うことは必要と思う。次年度はぜひ、両方実施されたし。対象者を狭めない集合型研修やオンライン研修を検討されたい。
 (参考意見)
 セクハラ・パワハラは職場においては実質的に権限を有している管理職の職員が行うことが多いので管理職の意識改革がなければ、防ぐことは不可能である。現状の取り組みは固定化しているように見え、職員に対する意識改革の取り組みは依然として不十分である。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進
担当者職氏名	係長 熊谷 拓哉	内線番号	6291

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②引き続き、保育環境を整え一時預かり事業を継続していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①保育所では保育所保育指針(厚労省告示)に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施した。 ②鶴枝保育所(一般型)及び朝日の森保育所(余裕活用型)において、専属の職員を配置し、一時預かり保育を実施した。				
	R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		
	0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を測り評価することは困難である。 ②特に鶴枝保育所は一時預かり専用の保育室を設けPRをしたことで利用者の増加につなげ、保護者のニーズに一定程度応えられたものとする。 (課題・問題点) ①については保育所での取り組みがあることを示すために計画に載せる必要はあると思うが、評価の対象からは外すことも検討するべきと考える。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②引き続き、保育環境を整え一時預かり事業を継続していく。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 保育指針を順守した保育を実施しているが、事業効果は不明確である。 (課題・問題点) 事業効果が分かるような具体的な取組を検討すべきである。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
保育指針を順守した保育を実施しているが、効果を計る工夫がされてない。		
改善策等の提言		
保育士が男女共同参画の視点をもち保育に努めることは必要である。学生時代に学んだと思うが、常に意識して、研修を受けることも大事と思う。保育者が保育する際に気を付けなければならないチェックリストを作成して定期的に自己チェックをして改善するなどの工夫をされたい。一時預かり事業は継続して行って欲しい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進
担当者職氏名	主幹 佐藤 都史子	内線番号	7929

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	①幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。 ②固定的な性別役割分担意識にとらわれない学校行事等の活動

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	(保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。 (小中学校)学校教育全体を通じて、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進します。また、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書等の教材においても適切な配慮がなされるよう留意します。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、主体的に進路を選択できるような進路指導に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ・幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施する。 ・小中学校において、各教科や特別活動等の学習を通して、男女平等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。 ・思春期健康教室等により児童生徒に命の大切さを学ばせる。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
① 幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施した。 ② 社会科や道徳科を中心に全教育活動を通して、人権的な視点から学習を進めた。特に学校行事や特別活動において男女の区別無く役割を決め活動を行った。 ③ 思春期健康教室を行った。(18校中10校実施)					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各幼稚園、各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等等の意識を高めることができた。男女混合名簿の採用、各行事の役割分担など男女平等の意識の元に、教育活動が運営されている。 (課題・問題点) 男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。 ②固定的な性別役割分担意識にとらわれない学校行事等の活動

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 男女共同参画の意識のもとで教育活動を実施しているが、事業効果が不明確である。 (課題・問題点) さらに男女平等の意識を高めることができるように具体的な取り組みを検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
日々の学習の中で男女平等の意識を高める努力がされている。		
改善策等の提言		
男女共同参画の視点のみで授業展開をすることや、数値で評価することは難しいのが当然。男女共同参画の視点を持ち意識することが大事と思う。思春期健康教室はすべての学校で毎年行って欲しい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	室長 平野 孝幸	内線番号	7869

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	DVが人権侵害であるという観点から、配偶者・パートナーに対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進します。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 年1回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①被害者に対し、県が主催している「DV被害者のための自立支援講座」への参加を促進する。 ②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、該当啓発を実施する。 ③若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するため、様々な機会を通じ、啓発活動に取り組む。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①11月の「女性に対する暴力をなくす運動」月間について広報もばらに掲載し、周知を行った。 ②市庁舎、本納支所等の市内公共施設にDV防止に関するポスターを掲示した。 ③11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間にチラシを各自治会に回覧した。		①1回 ③1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 2回		1回	2回		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ・広報誌や公共施設へのポスターの掲示、駅での街頭啓発、自治会へのチラシの回覧等、周知・啓発に努めた。 (課題・問題点) 若年層への啓発の取り組み

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 年度当初の計画は実施した。 (課題・問題点) より効果的な啓発方法を検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
計画は概ね実施されている。次年度はもっと範囲を広げて計画をたててもらいたい。		
改善策等の提言		
若年層への啓発活動は早急に行うべき。特に中高校生へ。県の関係機関と協力し、茂原市内の高校へも働きかけることが必要。DVは女性だけではなく、男性、高齢者、児童に対してもある。幅広い啓発が必要。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	室長 平野 孝幸	内線番号	7869

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載 ②公共施設のトイレにDVステッカーを設置 ③DV相談カードの配布

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努めます。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により積極的な周知を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・相談窓口の周知・啓発回数 年1回以上 ・DVに関する研修参加 年2回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①市内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。 ②広報もばら、市公式ウェブサイトへの掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載(毎月) ②公共施設のトイレにDV相談ステッカーを配置 ③DV相談カードの配布(子育て支援課、本納支所、保健センター窓口にて配布) ④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイトに掲載 ⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動推進月間」にチラシを各自治会に回覧、茂原駅構内において茂原警察署職員と共にチラシの配布		⑤1回	⑤男10名(男3人・女7人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・相談窓口の周知・啓発回数 12回 ・DVに関する研修参加 20回		・12回 ・18回	・12回 ・20回		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画通り実行できた。 (課題・問題点) 担当職員の更なる能力の向上と専門の相談職員の配置について検討する。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載 ②公共施設のトイレにDVステッカーを設置 ③DVカードの配布

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 概ね計画通り実行できた。 (課題・問題点) 相談窓口についてより積極的な周知を行う。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
概ね計画通り実行できた。		
改善策等の提言		
DVの周知に努めるとともに、相談窓口の案内も検討されたい。DVIに関する研修はスキルアップのためにも続けることを望む。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	12	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	係長 松崎 澄宏	内線番号	6217

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	今後も障害者虐待防止研修等へ参加するよう努める。また、障害者虐待通報に関しては、関係各課及び関係機関と連携し、適切に対応する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害の有無や性別にとらわれず、人としての尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に対する相談支援を行います。また、障害者虐待の相談窓口及び通報業務について、市公式ウェブサイト等を利用し、周知します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①担当職員の資質向上のため、障害者虐待防止研修会等に積極的に参加する。
②障害者虐待の相談窓口等について、市公式ウェブサイト等を活用し、周知活動を行う。
③障害者虐待通報があった場合は、中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、適切に対応する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①県が主催する障害者虐待防止研修に職員が参加し、虐待防止に関する相談・指導・援助についての対応技能を取得した。 ②障害者虐待防止について、公式ウェブサイトや市の窓口でパンフレットを設置する等、周知活動を行った。また、関係機関と協同でグループホーム従事者向けに虐待防止の講演会を実施した。その他にも計画相談支援事業所に対して、県が作成した障害者虐待防止のパンフレットを10部ずつ配布し、啓発活動を行った。 ③虐待通報については、事実確認を実施し、必要に応じて保健所・関係各課・中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、障害のある人や家族への支援を行った。		①研修 2回 ②講演会 1回 配布先 6事業所 ③通報件数 18件	①研修 男0名、女1名 延2名参加 ②講演会 参加者40名 ③被虐待者内訳 男12名、女5名、不明1名		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 前年度に引き続き、障害者虐待防止研修へ参加し、虐待防止に関する相談・指導・援助についての対応技法を取得し、適切に障害者虐待案件に対応することができた。また、関係機関と協同で虐待防止研修を実施できたことに加え、今年度から各計画相談支援事業所に訪問し、障害者虐待防止パンフレットを配布して啓発活動を行うことができた。 (課題・問題点) 実際にサービス提供を行う、各種事業所にも虐待防止の周知活動が必要と思われる。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	実際にサービス提供を行う各種事業所にも虐待防止パンフレットを配布し、さらなる啓発活動に努める。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画に基づいた事業を実施し、障害のある人や家族への支援を行った。 (課題・問題点) サービス事業者へ虐待防止へのさらなる周知を検討する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
計画に基づき確実に事業を実施している。		
改善策等の提言		
担当職員のスキルアップを継続して行う。実際にサービス提供を行う各種事業所へのさらなる啓発運動に努力されたい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	13	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	高齢者の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主事 大木 香奈	内線番号	6242

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	見守りネットワーク加入事業者に対し、年に1回は事例やマニュアル等を送り意識づけを行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	高齢者の威厳の保持のため、高齢者虐待に係る相談、指導・助言、通報・届出の受理、高齢者の安全確認や事実確認等を行い、高齢者虐待の防止についてパンフレットを用いて周知します。また、高齢者見守りネットワークを用いて、高齢者虐待の早期発見・予防に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	高齢者見守りネットワーク新規協力事業所 年1事業所以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	見守りネットワーク加入事業者に対し、年に1回は事例やマニュアル等を送り意識づけを行う。

D O (実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
令和6年4月1日から新たに市内スーパーマーケット(4店舗)が見守りネットワークに加入するため説明など実施。 現在見守りネットワークに加入している関係機関、事業所に事例を郵送した。		各店舗に1回 1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
高齢者見守りネットワーク新規協力事業所 0 (令和6年4月1日から4事業所加入予定)		1事業所	53事業所		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 次年度への準備と現在加入事業所等への意識付けを実施した。 (課題・問題点) 関係機関及び事業所の担当者が変更することでネットワークに加入していることを意識できていない様子が伺える。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	事業加入者を増やし、高齢者が安心して暮らせる街づくりを進めていく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画通り実施できた。 (課題・問題点) 新規事業所の増と加入事業者の継続的な意識づけを図る。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
計画通り実施できている。		
改善策等の提言		
新規事業所の増と、加入事業所の継続的な意識づけをする。地域ごとに加入事業所が増えるよう検討を。 (参考意見) スーパーマーケットの加入も良いと思うが、外出のできない高齢者が心配になる。民生委員の訪問が大切になると思うが、自治会にも対象者が未加入であっても地域の力が今後一層必要であることを自治会長連合会などで伝えて欲しいと思う。施設等における高齢者の虐待問題は、施設職員の意識向上というよりも、むしろ経営者の意識が重要で、経営者に対して虐待防止の意識向上の研修を実施することが有効と考える。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)被害者に対する支援、相談の充実
担当者職氏名	室長 平野 孝幸	内線番号	7869

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き、関係機関との連携を密にし、被害者支援に取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康福祉センター)、女性サポートセンター、警察、中核地域生活支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図ります。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内連携体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	DV等に関する庁内連携会議開催 年1回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①関係機関との連携を図り支援に努める。 ②被害者の安全確保に努める。 ③DV支援の連携強化を図るため、支援会議を開催する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
DV等に関する庁内連携会議は開催できなかったが、個別の支援については茂原警察署等の関係機関と連携し、被害者女性2名について女性保護施設へ入所避難させ、安全確保することができた。		49回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
DV等に関する庁内連携会議開催 0回 但し、関係機関と連携した個別支援は49件		1回	1回		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) DV等に関する庁内連携会議開催は開催できなかったが、関係機関と連携し、DVに悩む支援希望者からの相談に対応し、生活再建に向けて支援を実施した。 (課題・問題点) DV等に関する庁内連携会議を開催し、DV等への対応について周知し、連携を図る。また、DV等の暴力を根絶するため、予防的な取り組みについても検討していく必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①DV等に関する庁内連携会議を開催する。 ②予防的な取り組みとして、思春期教室で暴力は重大な人権侵害であることを周知していく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 個別相談や支援を行ったが庁内連携会議は開催できていなかった。 (課題・問題点) 庁内連携会議を開催し、DV等への対応について共通理解する。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
担当者、推進委員会に同じ			
改善策等の提言			
庁内連携会議の開催に加えて、警察や保健所、配偶者暴力センター、中核地域生活支援センターなどの関係機関との連携会議を、必要に応じて、せめて年に1回以上は開催されたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	主事 田中 梨華子	内線番号	7415

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き調査およびヒヤリングを行い、その結果を男女共同参画社会づくり推進協議会委員等と共有し、解決策を検討する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し、女性の登用を促進します。特に、女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し、女性の参画拡大を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	審議会等における女性委員の登用率 30%以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①審議会等における女性の登用率について調査する。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼するとともに、難しい場合は理由をヒヤリングする。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①審議会等における女性の登用率について調査した。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼し、特に女性が1人もいない審議会等についてはヒヤリングをしたものの、ほとんどがそもそも女性が少ない専門職が委員である必要がある審議会(公募できない)。どの担当課も女性委員がいないことは気にしているが、女性のなり手がいないとの結果だった。 ＜女性委員のいない審議会等＞ 土地区画整理審議会、地方青少年問題協議会、市町村交通安全対策会議、地方文化財保護審議会、自転車等駐車対策協議会、茂原市行政不服審査会、茂原市福祉有償運送運営協議会、茂原市介護予防事業業務委託事業者選定委員会、茂原市農業振興地域整備促進協議会、茂原市景観審議会、茂原市大型建築物評議委員会、茂原市史編集委員会		①1回 ②1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
審議会等における女性委員の登用率 24.0%		23.00%	24.40%		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 調査を行い、女性が1人もいない審議会等についてはヒヤリングを行った。 (課題・問題点) ヒヤリングを行った結果、審議会委員およびそれを所管する部署は、女性の登用を積極的に行いたい意思はあるが、どこも専門職で女性の人材不足という状況がうかがえる。担当課に依頼することまではできるが、それ以上のことに踏み込むことが難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き調査およびヒヤリングを行い、その結果を男女共同参画社会づくり推進協議会等と共有し、解決策を検討する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)

☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)

☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
計画通り実施できた。
(課題・問題点)
解決策の検討が必要である。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

計画通り実施している。

改善策等の提言

女性委員のいない審議会とのヒヤリングを引き続き進め、解決策を検討する必要がある。審議会・協議会の委員は、一定数は公募の委員が望ましい。女性枠をあらかじめ決めておくのも一案。若年層にも広げる。

(参考意見)

審議会等で女性登用ができていない理由が専門職女性の人材不足とされているが、例えば地方青少年問題協議会、自転車盗駐車対策協議会、景観審議会では全ての委員が専門職である必要があるのかどうか疑問なしではない。そのような新議会等では、専門職の必要性について検討するよう、担当課へ働きかけることも必要ではないか。また、どうしても専門職委員が必要な場合については、人材掘り起こしに一層努力するよう、担当課へ働きかけることを望む。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	主査 坂本信太郎	内線番号	7431

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	今後も積極的に女性の登用を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行います。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	管理職に占める女性の割合 30%以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・適材適所の人員配置を行うとともに、男女分け隔てなく係長相当職への昇格を行い、女性の管理職登用についても積極的に推進する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
令和5年度管理職への登用状況(R5.4.1現在) 管理職に占める女性の割合 15.31% 9級(部長職) 1人/8人 8級(次長級) 1人/10人 7級(課長級) 3人/37人 6級(補佐級) 12人/56人		15.31%	17人/111人		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
管理職に占める女性の割合 15.31%		18.10%	17.39%		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標に対して達成度は5割程度であり、目標値には達していないが、登用された女性職員は政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・問題点) 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたって対応を図る必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も女性の登用に積極的に取組んでいく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)性別にとらわれない積極的な登用を目指したが、数値目標に達していない。 (課題・問題点)男女問わない人材育成が必要である。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
数値目標には達していないが、登用された女性が実力を発揮している等、成果はでている。積極的に登用を行っているという主張の根拠が不明。			
改善策等の提言			
男女問わない人材育成が必要。特に女性は任用したくても、対象になる女性が少ないということもあると思われる。昨年と同じ意見だが、育児・介護などの家庭環境と両立できるような職場環境を整備することが急務。男性の意識も変わるよう啓発の場を作るなどの工夫を。それが出来なければいつまでたっても女性はより以上に働けない。女性自身の意識改革のための研修の検討を望む。働き方に男女の区別がない社会が求められていると思う。 (参考意見) 女性職員の登用については、具体的に目標値を設定して(管理職の25%以上など)推進することが積極的に登用を図ることなので、そのための女性の幹部登用研修を係長職の段階から実施し、環境整備を行うこと。また、職員組合女性部と協議及び意見を聞き、職場の働き条件を充実させて女性が登用される環境づくりを図られたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画		
事業名	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画		
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進		
担当者職氏名	主査 坂本信太郎	内線番号	7431		

ACT
(改善)

R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲

引続き研修に積極的に派遣するとともに、オンラインの研修を活用し、研修参加への意識を高める。

PLAN
(計画)

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、市女性職員の活躍推進のための研修等への参加機会の確保・拡充を図ります。

第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標

市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数 年5人以上

R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

女性職員のための研修に積極的に職員を派遣する。

DO
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)

内容		回数	参加者数(男女別)		
令和5年度は7名の女性職員が女性活躍推進にかかる研修に参加した。 千葉県自治研修センター「女性活躍推進研修」(実地研修・2日間):2名 (株)インソース「女性のためのスマートワーク研修」(オンライン研修・1日間):5名		年7人	7人(男0人・女7人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数		5人	6人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
57		141		57	

CHECK
(評価)

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
自治研修センターへは係長級の職員2名を派遣した。また、若い年代の意識向上のため、主事級の職員5名にも研修参加をしてもらった。
(課題・問題点)
通常業務との調整を図る必要がある。特に係長級の職員は担う業務も大きくなる傾向があり、調整が難しい部分がある。

ACT
(改善)

担当課による、次年度における取り組み予定

研修の形態を幅広く活用し、引き続き研修への積極的な参加を行わせる。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 目標以上の成果を上げたため。 (課題・問題点) 幅広い職級への参加を要請。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
担当者、推進委員会に同じ。		
改善策等の提言		
研修を受けやすい環境を作ることは必然。周囲の協力・理解が求められている。体制づくりを急がれたい。オンライン研修を活用し、一人でも多くの女性職員に研修機会を与えて欲しい。数値目標が低すぎると思う。職員数が必ずしも十分ではないことから、通常業務との調整が困難であることは否定しないが、この課題については、組織としてそれを乗り越える努力、方策が求められる。 (参考意見) 研修参加が困難な理由として、通常業務との調整の困難さを挙げているが、このようなことを言っていてはいつまでたっても事態は前進しない。職員数が必ずしも十分ではないことから、通常業務との調整が困難であることは否定しないが、この課題については、組織としてそれを乗り越える努力、方策が求められる。少なくとも係長職以上の女性職員に対して、最低年1回は1日研修を義務付けて実施する事。さらに、研修を受けた職員に対してはスキルアップの1泊の研修に派遣する。また民間企業とタイアップして職員を派遣するなどの検討をするべき。さらに外国派遣を検討すべきである。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	18	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民活動における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(1)地域における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査 大本 淳司	内線番号	7252

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が共に市民活動に参画することの意義について理解を深めることができるよう、自治会長連合会や社会福祉協議会、市民活動団体等の関係団体と連携し、あらゆる機会を通じて意識啓発を図ります。また、市内のボランティア・NPO活動に関する広報・普及活動を行い、市民活動に対する理解の向上、参加促進等を図るとともに、地域の活力向上に資するよう、市民活動に関する情報の共有に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 年5団体以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・講演会等を実施する際、男女がともに自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、地域活動における男女共同参画についての周知を図る。 ・市民活動団体の支援の際、男女共同参画の取り組みを促す。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・茂原市自治会長連合会による主催で、1月に「自治会おもてなし講座」(講師:さくらコミュニケーションズ 古川智子氏)の講演会を開催した。 ・市民活動団体の構成員同士の交流の機会を設け、活動の更なる充実を図るための交流会を開催した。		1回	39名(男性31名・女性8名)		
		8回	61名(男性29名・女性32名)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 7団体		6団体	7団体		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
2629		2532		2480	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 講座等の開催を通じて、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めた。 (課題・問題点) 地域におけるまちづくりに男女がともに参加する機運は年々高まってきているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	講演会や市民活動団体交流会等の開催を通じて、引き続き地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成を図るとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成できているが、主導的立場の女性が少ないため。 (課題・問題点) 主導的立場の女性を増やす方法を検討していただきたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
 ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
 ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

参加する女性の比率が低い。認定市民活動団体における男女共同参画の推進状況が見えない。

改善策等の提言

男女が協力し合う街づくりをするため、連合自治会との十分な話し合いを望む。意思決定の場に女性が少ないことが問題の一つ。茂原市の自治会の将来像、どんな自治会が望まれるか等、市民参加の討論の場を作ってはどうか。何もしないと自治会への参加率は減る一方と思われる。これでは市民参加の街づくりは望めない。

(参考意見)

具体的に市民活動団体の構成員同士の交流会では男女の参加比率がほぼ同じなのに、まちづくりの旗振りをしようという自治会の講演会には男性の参加が圧倒的に多い。市民活動においても女性の参加の方が多いと思うが、旗振り役は男性か？男性は旗を振っても具体的な市民活動には参加していないのか？若いも若きも男性の人生への参加率の低さの方が、主導的な女性の不足を嘆くことより喫緊の問題ではないかと思う。改善策以前に問題を捉え直すことが必要ではないだろうか。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	父親に子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 高橋 宏和	内線番号	7932

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	募集方法や内容を工夫し、男性が参加しやすい環境を整えていく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図ります。また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・家庭教育学級の開催回数 年60回 ・家庭教育学級の父親参加者 年350人以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①幼稚園・小学校家庭教育学級の開催 ②就学时子育て講座の実施 ③幼児期(3歳児)家庭教育学級の開催

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①幼児期(3歳児)家庭教育学級 ②就学時子育て講座 ③幼稚園・小学校家庭教育学級		①5回 ②12回 ③38回	①50人(男1人、女49人) ②518人(男43人、女475人) ③772人(男174人、女598人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・家庭教育学級の開催回数 55回 ・家庭教育学級の父親参加者 218人		・31回 ・57人	・46回 ・119人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
477		261		467	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 幼児(3歳児)家庭教育学級の男性参加率が特に低い。 (課題・問題点) 父親が関心を持つような情報発信が足りていない。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	家庭教育学級で提供する情報等について、アンケート等を工夫し、父親目線で求められるニーズの把握に努める。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 目標達成までには至らないが、研修回数、参加人数がともに増加しているため。 (課題・問題点) 幼児期から関りをもってもらうため、幼児期家庭教育学級の開催数を増やすため、情報発信を検討していただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
男性の参加人数は増えているが、参加率はまだまだ低い。		
改善策等の提言		
父親の求めているニーズは何か、アンケートの実施をぜひされたい。ついでに、母親が求める父親へのニーズは何かも調査してみるとよいと思う。父親も育児に参加することが当たり前という認識の啓発を望む。 (参考意見) 幼児家庭教育学級の参加が特に低いようなので、家族で楽しめる教室を検討されてはどうか。例として、父親は教室に参加、子どもと母親は別室で交流。情報交換や悩みを話す機会を設けることはいかがですか。家族で参加もありという方法を検討してはいかがか。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の推進
担当者職氏名	副主査 矢部俊彦	内線番号	23-8711

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	教室の内容などを考慮し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室を開催できるよう取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座等を開催し、男性の家庭参画を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・男性の家庭参画を促す講座の開催 年5回以上 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 年90人以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・「薬膳とヨガの健康教室」を開催する。 ・日常生活に簡単に取り入れられる薬膳的養生を学び、自身や家族の健康維持に役立てる。 ・体を動かすヨガでリフレッシュし、習得したヨガを家庭生活において実践する。

D O (実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・「薬膳とヨガの健康教室」を6回実施。 ・7月18日, 25日, 9月5日, 19日, 10月24日, 11月7日(全6回、火曜日)9時30分～11時30分 開催 ・内容は、日常生活に簡単に取り入れられる薬膳的養生を学び、体を動かすヨガでリフレッシュを図る。学んだ薬膳的養生の知識を料理等に反映することや習得したヨガについて、家庭生活にて知識の共有及びヨガを実践することにより健康の増進を図る。		6回	延べ45名 (男6名、女39名)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・男性の家庭参画を促す講座の開催 6回 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 45人		・0回 ・0人	・8回 ・71人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
46		46		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 参加者が、薬膳的養生の知識や体を動かすヨガについて習得したことを家庭生活等で共有することにより、家庭生活における教養の向上や健康の増進が図られ、男女共同参画の意識啓発の推進にも寄与することができた。 (課題・問題点) 家庭生活における教養の向上や健康の増進につながるより充実した内容の教室を開催し、男女共同参画の意識啓発を広める。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	教室の内容などを考慮し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室について検討する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 昨年より数値が減少しており、また目標数値が達成できていないため。 (課題・問題点) 男性の参加者が増えるような講座内容を検討していただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
昨年より数値が減少している。男性の参加者が少ない。		
改善策等の提言		
男性の家庭参画を促すことが目標なので、男性の参加者が多くなる企画を考案されたい。教室で学んだことを家庭で披露出来たら嬉しいと思う。張り合いにもなると思う。もちろん、一人暮らしにも役立つ。男性に役に立つ家庭生活における掃除、片付けなどは今までにも開催しているかもしれないが、再度検討されてはどうか。ヨガにとらわれずに、男性も参加したくなるようなスポーツや成人病の予防ができる食生活の知恵など学べる教室なども検討してはどうか。今後も継続しより一層の工夫・努力をされたい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	乳幼児相談・健診事業の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	保健師 細内 絵理香	内線番号	25-1725

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	集団健診においては、引き続き感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。問診票の見直しをすることで、より具体的に支援ができるように取り組んでいく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるよう、健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・6か月乳児相談受診率 95% ・1歳6か月児健康診査受診率 98% ・3歳児健康診査受診率 97%
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

- ①相談・未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。
②育児についての不安や悩みを丁寧に聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は関係機関の相談に繋げる。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①受診率 6か月乳児相談:91.2% 1歳6か月児健康診査:98.7% 3歳児健康診査:97.1% 6か月乳児相談では、都合が悪い等の未受診者に訪問等により個別対応(うち窓口来所14件、訪問3件)し、それを含めると受診率95.4%となっている。紹介状及び精密検査連絡票を発行し、医療機関につなげた。1歳6か月児健康診査:13件 3歳児健康診査:71件(令和6年3月13日現在) ②発達の遅れのある乳児に対しては、健診時の心理相談等につなげ、子どもの特性に合わせた関わりができるように支援した。育児不安等については、電話や訪問の他、関係機関の相談事業につなげ、不安の軽減に努めた。 ※感染症対策の一環として、1回の健診等の案内人数を制限するため本来の対象月齢より遅れて案内したが、年度末までに遅れはほぼ解消された。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・6か月乳児相談受診率 92.1%		・87.8%	・86.5%		
・1歳6か月児健康診査受診率 98.7%		・96.4%	・98.1%		
・3歳児健康診査受診率 97.1%		・97.4%	・95.4%		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
5,605		5,303		5,425	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 感染症対策のため1回の案内人数を制限し、さらに体調不良者には受診を控えていただいたが、新型コロナウイルス感染症が感染症法にて5類に分類されたことに加え、未受診者には電話や訪問等で積極的に受診勧奨したことで受診率の向上につながった。 (課題・問題点) 集団での相談・健診のため基本的な感染症対策および積極的な受診勧奨を継続し、受診率の維持をする必要がある。また、すべての子育て家庭と面接できる機会であることから、安心して子育てができるよう、より一層の工夫していきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	集団健診においては、引き続き感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。育児不安等の解消のための啓発内容を検討する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
未受診者の対応もできており、受診率の増加にもつながっている。
(課題・問題点)
引き続き未受診者への対応を行いつつ、受診率増加に努めていただきたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

推進委員会に同じ。努力の成果が数値に表れており、素晴らしい結果だと思う。

改善策等の提言

引き続きより一層の工夫・努力をされたし。受診の際に父親の参加率が増えるような取り組みについても検討を望む。
(参考意見)
相談や検診事業は概ね実施されている。第4次計画に定められた具体的取り組み計画に、乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しい育児ができるよう、健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発するとあるので。こちらも一緒に考えて欲しい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実
担当者職氏名	室長 平野 孝幸	内線番号	7869

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲 「もばらで子育てガイドブック2023」の発行、配布 相談業務及び訪問支援業の実施
---------------------	--

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 男女が協力して子育てできるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、市公式ウェブサイトの活用による子育て支援に関する情報提供に努めます。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、赤ちゃん訪問や家庭児童相談員による家庭訪問等で対応していきます。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 「もばらで子育てガイドブック」の配布数 年2,500部以上 R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①もばらで子育てガイドブックの配布と作成を行う。 ②茂原市ウェブサイトを活用し、情報提供に努める。
--------------------------	---

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・「もばらで子育てガイドブック2023」を発行し、子育て支援課や関係部署の窓口配付、また市公式ウェブサイトとスマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。 ・「もばらで子育てガイドブック2024」発行に向けて掲載内容の見直しを行った。 ・子育て相談や養育支援訪問事業を行い、保育士等から子育てに関する情報提供を行った。		・配布枚数 2,900部 ・子育て相談 21回 ・養育支援訪問件数183件	・子育て相談77人 (男56人女21人) ・養育支援訪問13人 (男1人女12人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2, 900部		2,500部	2,500部		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 計画どおりガイドブックの発行及び配布し、各種相談等で必要な子育てに関する情報提供を実施できた。 (課題・問題点) ガイドブックを作成して子育てに関する情報提供を実施しているが、SNS等も活用し、必要な情報が届くように検討していく。
-------------------------------	--

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 ①「もばらで子育てガイドブック2024」の発行・配布 ②SNS等も活用した情報提供についても検討していく。
---------------------	--

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
男性の子育て相談は一定の成果を上げているが、ガイドブックの配布方法に検討の余地がある。
(課題・問題点)
窓口配布だけでなく、確実に対象者にガイドブックが渡る方法を検討していただきたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

実行委員会に同じ。

改善策等の提言

窓口配付だけでなく、確実に対象者にガイドブックが届くよう、方法を検討されたし。保育所、幼稚園、こども園などでの配付はされているのか？養育支援訪問が前年度より大幅に増えているのはなぜか？要請が増えているとしたら理由は何か？検討を望む。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実
担当者職氏名	室長 平野 孝幸	内線番号	7869

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	夫婦で子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや市公式ウェブサイトを活用して相談業務の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所・幼稚園・保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応します。また、児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	個別支援会議 年50回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①代表者会議 ②実務者会議 ③個別支援会議

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①代表者会議 ②実務者会議 ③個別支援会議		①1回 ②6回 ③41回	①22名(男18名・女4名) ②115名(男48名・女67名) ③272名(男98名・女174名)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
個別支援会議 41回		43回	37回		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
805	787	1,558			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各種相談業務の中で、必要な関係機関と連携して支援し、不安の解消に努めた。また、児童虐待のリスクの高い家庭等については、要保護児童地域対策協議会で共有し、支援の方向性を検討し、役割分担をすることで重症化を防ぐことができた。 (課題・問題点) 次年度より、母子保健機能と児童福祉機能を一体化し、こども家庭センターを設置する。子育てに困難を抱えてい家庭等について、サポートプランを作成することとなる。母子保健機能と児童福祉機能が一体化して支援できるように合同会議を開催するなどして、期待されている役割が担えるように軌道に乗せることが課題。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関との連携による支援の充実 ②こども家庭センターで困難を抱える家庭等を対象にサポートプランを作成し、安心して子育てができる環境を整えていく。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 個別支援会議等を開催することで、困難事例への対応がある程度できている。 (課題・問題点) こども家庭センターでの様々なニーズに対応できるようにしていただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
個別支援会議の回数が目標数値に足りないが必要な関係機関と連携して効果をあげている。		
改善策等の提言		
代表者会議にもう少し女性が出られるよう、代表者枠を検討されたい。こども家庭センターでの対応が、より良い効果を生み出せるよう望む。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	副主査 大本 淳司	内線番号	7252

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	赤ちゃん連れの子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育て世代が屋外におけるイベント等へ赤ちゃん連れで安心して外出することができるよう、イベント主催者等に対して、移動式赤ちゃん休憩室を無償で貸し出しします。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 年4回以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①各種団体等へ市公式ウェブサイト等で周知・啓発 ②自治会長ハンドブックに掲載し、周知・啓発

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①市民活動交流会において団体へ周知		1回			
②市公式ウェブサイトにて周知		1回			
③自治会長ハンドブックに掲載(令和4年6月)		1回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 4回		3回	4回		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 貸出件数について、新型コロナウイルス感染症の規制緩和による増加を見込んでいたが、前年度と同数となった。 (課題・問題点) 移動式赤ちゃん休憩室の貸し出しについて、引き続き広く周知が必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	赤ちゃん連れの子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

貸出件数の増加が見込まれたが前年度と同数のため。

(課題・問題点)

周知方法の検討が必要。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

数値目標が低すぎる。感染症が収まる傾向の中、イベントは増えつつある。

改善策等の提言

各イベントの情報を事前に入手できるような体制を作り、直接PRする。とても良い取り組みなので、屋内での会場で、別室で対応できないときは貸し出しても良いのではないかと。また、申込みや利用者が増えた場合の対処の仕方も考慮しておく必要あり。周知が①②③ともに一回ずつなのは少なすぎるためフェイスブックやLINEも活用するなど周知の工夫が必要。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 熊谷 拓哉	内線番号	6291

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲 延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。 一時預かりについては、引き続き保育環境を整え実施していく。 病児・病後児保育については、令和5年4月から開設時間が短くなることから、茂原市内での実施や長生郡市内での広域的な実施のため、引き続き検討を行う。
---------------------	---

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業の充実に努めます。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・延長保育の実施時間を延長する保育施設 現計画中に2カ所 ・一時預かりを実施する保育施設 現計画中に3カ所 ・病児・病後児保育を実施する保育施設 現計画中に1カ所 R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業及びファミリーサポートセンター事業を引き続き適正に実施する。 またR4年度より開始した鶴枝保育所一時預かり事業のPRに努める。
--------------------------	--

D
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))						
内容			回数	参加者数(男女別)		
・病児・病後児保育事業については、白子町の酒井医院との委託により実施した。また、今後の病児・病後児保育事業について長生郡市内市町村の担当者会議を実施した。 ・延長保育の実施時間延長については、引き続き豊田保育所にて実施した。 ・一時預かりについては、引き続き朝日の森保育所(余裕活用型)及び鶴枝保育所(一般型)にて実施し、乳児健診対象者にちらしを配布する等、事業のPRに努めた。						
R5年度の数値成果			R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・延長保育の実施時間を延長する保育施設 1カ所 ・一時預かりを実施する保育施設 2カ所 ・病児・病後児保育を実施する保育施設 1カ所			・1カ所 ・1カ所 ・1カ所	・1カ所 ・2カ所 ・1カ所		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額		
3,193		病児:2,597		病児:3,152		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 病児・病後児保育事業について、白子町の酒井医院に委託により実施することで、茂原市民の利用料が値下げされ、利便性が高まった。また、延長保育、一時預かり保育についても、一定程度保護者のニーズに応えることができた。 (課題・問題点) 病児・病後児保育事業については、茂原市内で実施できることが望ましいが、長生郡市内で広域的に実施することも検討する必要がある。
-------------------------------	---

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 病児・病後児保育については、令和5年度から開設時間が短くなったことから、新たな実施場所について、茂原市内、長生郡市内の広域的な実施のため継続して検討する。延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。一時預かりについては、引き続き保育環境を整え実施していく。
---------------------	---

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
各事業実施して、ある程度成果を上げているが、さらなる施設の拡充が必要。
(課題・問題点)
病児・病後保育のもばら市内での実施、延長保育においても他の保育所との検討を早急に実施。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

推進委員会に同じ。

改善策等の提言

6年度より保育課が設置され様々な事業が見直されていると思う。ファミリーサポートセンター事業についてまだまだ周知が足りていないためより一層の成果が出るよう努力されたい。各保育所に、保育を兼ねた看護師を雇用するなどのニーズに合う保育を検討されたい。(千葉市では全保育所に保育士枠で看護師を雇用している)病児病後児保育を市内で実施できるのが望ましいので医師会とも相談して緊急に実現するよう検討を！

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 白井 憲一	内線番号	6233

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	萩原小学校区への学童クラブ専用保育室の新設および待機児童の見込まれる小学校区における、小学校の施設活用や建物の整備などによる待機児童の解消に向けた検討を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	学童クラブでは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了後等に公共施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。また、国の「放課後子どもプラン」において学校施設の徹底的な利活用が定められていることから、教育部門と連携し、小学校の余裕教室等を利用した保育環境の向上を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・学童保育の開設場所 現計画中に20カ所 ・学童保育の児童数 年650人
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①公設学童クラブの運営及び民設学童クラブの運営に対する補助 ②萩原小学校区への学童クラブ建物の新設工事

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①民設学童クラブ事業者に物価高騰に対する補助金を交付した。 ②公設学童クラブと民設学童クラブにおける利用料等の格差是正に対する補助金を交付した。 ③待機児童解消のため、萩原小学校区に建物を整備した。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・学童保育の開設場所 ・学童保育の児童数		・20カ所 ・578人	・18カ所 ・558人		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
150,991	147,670	84,514			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 萩原小学校区への新設工事による実施場所の確保や、物価高騰に対する補助金の交付による運営者の負担軽減など計画どおりに実施することができた。 (課題・問題点) 小学校区によっては、待機児童が発生していることから、学校施設の活用等を含め、実施場所の確保による待機児童の解消が必要である。また、市が運営する公設学童クラブと保護者会等が運営する民設学童クラブにおいて利用料や運営の格差解消を図る必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	待機児童が発生している小学校区における、学校の施設活用等の検討を行うとともに、公設学童クラブと民設学童クラブの利用料の差等の格差解消の検討を行う。また、夏休みや春休みの長期休業期間においても待機児童の発生が見込まれることから、待機児童解消の検討を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画通り、補助・新設工事が行えているから。 (課題・問題点) 待機児童解消に向け、民設学童クラブとの利用条件格差解消及び小学校の余裕教室等の利用の検討が必要である。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
推進委員会に同じ。			
改善策等の提言			
推進委員会に同じ (参考意見) 学習支援のプログラムも取り入れてみてはどうか。長生郡の町村では行われているので各施設で検討をしてはどうか。子供の居場所づくりという観点からは、学童保育に比重を置く施策から脱却を目指し、子ども食堂や地域のコミュニティの中核となる福祉センターや公民館、青年館を活用した子どもや高齢者が集う居場所を創設することに視野を広げて欲しい。学習支援などの取り組みも検討されたし。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実
担当者職氏名	主事 大木 香奈	内線番号	6242

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	障害や生活困窮など複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関と密接に情報共有・連携を図りながら支援していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	介護を必要とする人とその家族にとって、身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支えます。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

障害や生活困窮など複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関と密接に情報共有・連携を図りながら支援していく。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・窓口や電話での相談だけでなく、市内の地域包括支援センターやその他関係機関と連携し、情報共有を図り、課題解決に向けた支援に努めた。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
102,907	102,838	106,013			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 各関係機関が連携し、改善に取り組んでいた。 (課題・問題点) 改善するための手段がなく、長期化している事例もある。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	これからも関係機関との連携を継続しつつ、それぞれの支援の質を高めていく必要がある。

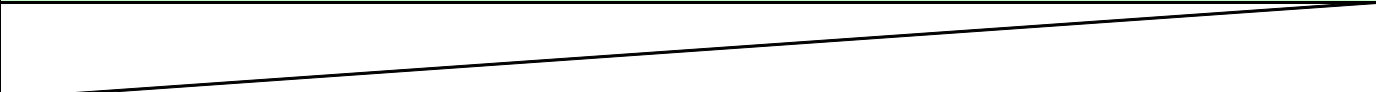
C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 相談窓口を設置しているが、何をしているか漠然としている。 (課題・問題点) 周知方法の検討が必要。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
今回の実施報告からは、漠然としていて何をしたのかよくわからない。市内の地域包括センターやその他の関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行っていることは評価できる。		
改善策等の提言		
昨年提案した地域のトータルな運営協議会(市行政、医療関係者、介護関係者、民生委員、自治会)は開催されたのか。地域包括支援センターの業務内容をさらに議論されたい。窓口や電話での相談件数の記載やどのような関係機関に繋がったのか記載が欲しい。また長期化している件数も記載が欲しい。再検討を願う。高齢者を抱える家庭や本人からの複雑な相談に対して、向き合うためには、相談員の増員と相談員の育成さらに相談員のスキルアップが必要と思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実
担当者職氏名	主事 大木 香奈	内線番号	6242

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	・まだ講座を開催していない小学校や中学校に講座を開催する。 ・ほっとみまもり隊の活動の場を検討し、チームオレンジの立ち上げにつなげるようにする。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していきます。また、認知症サポーター養成講座受講者が地域で活動する「チームオレンジ」の啓発を行い、本市でチームオレンジが立ち上がるよう支援活動を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・認知症サポーター養成講座は合計16回開催し、まだ講座を開催していなかった五郷小や富士見中の野球部員に対して開催した。 ・ほっとみまもり隊に対して8月にステップアップ講座を開催した。 ・2月にほっとみまもり隊と一緒に認知症啓発活動(スーパーとアスモでティッシュとチラシ配りとその準備作業1回ずつ)を行った。		16回	男:191 女:252		
		1回	男:15 女:37		
		2回	男:12 女:26		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
443		344		349	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 今まで講座を開催していなかった小学校や中学生に講座を開催することができた。またほっとみまもり隊に対してステップアップ講座を開催し、ほっとみまもり隊と一緒に認知症啓発活動ができた。 (課題・問題点) ほっとみまもり隊の活動機会の創出がまだ少ない。認知症サポーター養成講座については高校などまだ開催できていないところもある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 ・認知症サポーター養成講座は市内の高校、市役所内職員、市議会議員などにも開催する。 ・市内の4つの日常生活圏域(ほんのう・ちゅうおう・もばら・みなみ)ごとで認知症地域支援推進員とほっとみまもり隊で話し合いを行い、認知症の活動について話し合いを行い、チームオレンジの立ち上げにつなげる。
---------------------	---

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) ある程度計画通りに行っているが、チームオレンジ結成に至っていないため。 (課題・問題点) 幅広い世代に講座を行い意識啓発を図るとともに、ステップアップ講座の開催回数を増やす検討を行っていただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
担当者と推進委員会に同じ		
改善策等の提言		
認知症サポーター要請講座の修了者による「ほっとみまもり隊」や「オレンジチーム」に対する具体的な活動内容の提起がない。名ばかりではなく、地区ごとに「ホットみまもり隊」を設立させ、どのような任務があるかを明確にされたい。 (参考意見) 認知症サポーター養成講座がまだ開催されていない高校については生徒全員が在学中に1回は必ず受講する継続的な機会を早急に設けて欲しい。この事業は高齢者や認知症患者のためである以上に、学童や生徒の人間理解の幅を広げるのに役立つ教育的機会という側面が大きいことも、高校の行事決定権を持つ校長先生などに説いて欲しい。同じ意味で青年期、壮年期の男性のための認知症サポーター養成講座を職場で開催することにも大きな意義があると思う。市職員、市議会議員にも開催するという改善案にも賛成。ぜひ実施して欲しい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	主事 田中 梨華子	内線番号	7415

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについて、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、市民への意識啓発を図るとともに、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

- ①国・県や関係団体の啓発リーフレットを公共施設等の市民の目につきやすい場所に設置する。
②千葉県男女共同参画センターと協働し、講演会の開催、パンフレットの作成等、意識啓発事業を実施する。

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①国・県や関係団体が作成する啓発リーフレットを、公共施設に設置した。 ②千葉県男女共同参画地域推進員事業(東上総地域)として講演会「地域と家庭立場に応じた子育て支援」を開催。家庭や地域で助け合いながら、子育てと仕事やその他の活動に男女関係なく取り組むことについて、講師自身の経験からお話いただいた。	①適宜(年5回以上) ②1回	②49名(男女内訳不明)		
	R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		

0

0

0

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画にもとづいて取り組みを行っているが、啓発方法の検討が必要。 (課題・問題点) 各種イベント等でのPRを行うなど啓発方法の検討が必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き情報発信を行うとともに、男女共同参画への市民意識調査実施により、市民への周知度、市民への理解度の把握をした上で、効果的な啓発方法を検討する必要がある。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
啓発リーフレットの配布、講演会の開催など、計画どおりに実施できている。
(課題・問題点)
情報発信やイベントの周知を心がけてほしい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

ある程度の情報発信はできているが、どの程度周知されているのか分からない。

改善策等の提言

明確な目標を設置することが必要と考える。今後、男女ともに働く社会は必然と思う。仕事、家事、育児、介護等すべてにおいて男女共同参画の理念が必要とされる。市民の意識も変わっていかないと暮らしが成り立たなくなる。市役所内からワークライフバランスへの取り組みを先駆けて、市内の企業経営者や商工会議所や農協さらに教育現場などにも声がけをして、茂原市全体で取り組めるように検討して欲しい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	主事 古山 茂生	内線番号	7635

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、「ワークライフバランス」について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進します。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配付によりワーク・ライフ・バランスに関する情報提供及び周知に努める。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
市ウェブページに「働き方改革」や「ワークライフバランス」へのリンクの掲載、パンフレットの配架やSNSによる情報発信を行った。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 情報発信による周知が行えた。 (課題・問題点) 企業等の積極的な取り組みを促進するには、市レベルでの働きかけでは限界がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	情報発信による周知を継続的に行う。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 周知方法の検討が必要 (課題・問題点) 商工会議所等と周知方法の検討を行っていただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
推進委員会に同じ。		
改善策等の提言		
個人ではなく企業に働きかけるのは難しいことだとは思いますが商工会議所などの企業関係の団体への働きかけは根気よく続けて欲しい。茂原市でも表彰制度を導入することで企業への啓発につながるので、予算を計上して検討、実現を望む。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進
担当者職氏名	主査 坂本信太郎	内線番号	7431

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	育児休業の取得について、職員の意識改革が必要である。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行います。また、特定事業主行動計画に基づき、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業が男女共に偏りなく活用できるよう働き方改革の目標と併せて職業生活と家庭生活との両立を支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回

R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
・年次有給休暇の取得推進及び時間外勤務の適正な管理について、職員に対して通知を発出し、意識啓発に努める。 ・各種休暇・休業制度の周知を行い、取得促進に努める。 ・子育てと仕事の両立に取り組む部下への適切な対応について、部課長会との共催で研修を実施する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①特定事業主行動計画の実施状況をホームページで公表した。 ②令和5年4月及び5月に全職員に対して、時間外勤務の上限規制及び年次有給休暇の取得推進について通知を発出し、意識啓発に努めた。 ③出産における特別休暇等の計画的利用を促進する目的で、茂原市職員子育てハンドブックの補助的ツールとして、茂原市職員子育てハンドブックQ&Aを作成し、全職員に周知した。 ④部課長会との共催の研修を実施した。 「イクボス研修」参加者60人 講師:インソース 青木 誠 氏		1回	④参加者60人(男50人・女10人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
特定事業主行動計画の実施状況の公表		1回	1回		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 男性職員の育児休業・部分休業への関心が高まり、取得する職員が増えた。特定事業主行動計画の数値公表と併せ、性差なく仕事と子育ての両立ができるよう意識改革に努めた。 (課題・問題点) 男性の育児休業の取得については、意識は高まってきているが、対象職員全てが取得しているわけではない。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	育児休業の取得について、職員の意識改革を継続していく必要がある。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 周知啓発によって休暇・休業の取得率が増加しているため。 (課題・問題点) 依然として時間外勤務が多いので、適切な人員配置を検討していただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
子育てと仕事の両立について部課長会と共催の研修を実施しており実際に休業の取得率が増加している。休暇取得数の記載が欲しい。		
改善策等の提言		
育児休暇だけではない。次年度における取り組みが不足だと思う。 (参考意見) 育児休業取得は本人の意識改革のみで進むものではなく、育児休業ができるような職場環境の改善、周りのサポートも重要である。職員の意識改革ばかり強調していると、取らない場合は本人の責任のような扱いになりかねない。育児休暇を取りやすい職場づくりについても取り組みが必要と考えられる。育休とともに介護休暇についてももっと取得のハードルが意識を含めて下がるとよいと思う。が、それには、市民への行政サービスの低下や職員の超過勤務などを避けなければならないと思うので、職場環境整備が重要だと思う。市職員のワークバランスは、政策実施主体として積極的に推進しなければならない使命をもち、より具体的に成果を上げるため職員組合との協議を行い推進するという視点が希薄と思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善
担当者職氏名	主事 古山 茂生	内線番号	7635

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共に仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図ります。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。 ②男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図る。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
関係機関による相談窓口や法制度に関するチラシ等の案内を市窓口で配布した。 また、市ウェブページやSNSを活用し、情報発信に努めた。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 情報発信による周知が行えた。 (課題・問題点) 企業等の積極的な取り組みを促進するには、市レベルでの働きかけでは限界がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	情報発信による周知を継続的に行う。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 周知方法の検討が必要。 (課題・問題点) 各種イベント等でのPRを行うなど啓発方法の検討が必要。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
推進委員会に同じ		
改善策等の提言		
予算も無い中での施策なので、難しさはあるが、商工会議所、労働局等との連携等、なにか一歩進めた計画が必要でないか。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善
担当者職氏名	主事 古山 茂生	内線番号	7635

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	千葉県ジョブサポートセンター事業を活用し、再就職支援セミナーを継続して開催する。 開催にあたり、ハローワーク等の関係機関と更なる連携を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施します。また、広報もばら・市公式ウェブサイトを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職を支援するセミナーを開催する。 ②ハローワーク茂原やマザーズハローワークなどの支援機関が回サウスの講座や、就職・再就職支援の取組みについて、広報・市公式ウェブサイト等への掲載により情報を提供するとともに、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
全年齢向け再就職支援セミナー 9月7日 10時から12時		1回	17人(男12人、女5人)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
セミナー等の開催 1回		1回	1回		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) セミナー等の開催を数値目標どおり行った。 (課題・問題点) 第4次計画に定められた具体的取り組み計画では情報提供を実施するとしており、セミナーの開催等を行うものとなっていないので、PDCAサイクルが展開できるものとなっていない。なお、ハローワークや商工会議所が行うセミナー等の周知はSNSを用いて行っている。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	次年度も同様に開催予定。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
計画の数値目標を達成できている。
(課題・問題点)
女性参加者の増加に向けての方法を考える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

実行委員会に同じ。

改善策等の提言

ハローワーク等、関係機関と協力して実施することを検討されたい。予算を計上して再就職に踏み出す女性を支援できるようなセミナー等を行うことを検討されたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 石橋 蓮	内線番号	7614

ACT
(改善)

R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲

女性が農業に関心を持つ、きっかけを作る取り組みを検討する。

PLAN
(計画)

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食事への取り組みを促進します。また、女性起業家を育成するため、女性農業者に県主催の起業講座や研修会への参加を促進するとともに、6次産業の補助金制度等の情報を提供します。

第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標

女性の新規農業起業家数 年1人以上

R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

本市での就農を啓発するため千葉県農業大学校で実施している説明会にて、本市における女性の新規就農実績の説明や、「麦の会」が講師を務める「もばらふるさと塾」などの事業紹介を行い、女性の新規就農の促進を図る。

DO
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)

内容	回数	参加者数(男女別)
千葉県農業大学校で説明会を1回 もばらふるさと塾を1回 農政課窓口における就農相談6回	8	40

R5年度の数値成果

	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
女性の新規農業起業家数 0人	0人	0人		

R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額
120	120	120

CHECK
(評価)

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
令和5年度計画に掲げた千葉県農業大学校での啓発に加えて、農政課に女性の就農希望者が相談に来庁した際において具体的な説明を行っているが、就農には至っていない。
(課題・問題点)
本市全体の農業従事者の減少に伴い、女性の従事者も減少しているため、新規就農での女性就農者の確保が必要と考える。

ACT
(改善)

担当課による、次年度における取り組み予定

近年、以前にはなかった、本市への移住を検討しての就農相談を受けている現状があり、相談者の中には、女性の就農希望者もいることから、千葉県長生農業事務所やJA長生などの他機関と引き続き連携し、新たな取り組みを検討していく。

C H E C K (評 価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画の数値目標を達していない。 (課題・問題点) 女性就農に向けたきっかけづくりと新たな取り組みを検討していく。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
数値目標は達成されていないが、努力している。			
改善策等の提言			
引き続き、新規就農希望者への適切な対応に努力されたい。 (参考意見) 相談者はいても就農に繋がらない原因の分析はしているのか。また、新規就農にしても継続して農業を行うにしても手続きの大変さが壁になっていないか。農機具が高価であることも要因の一つと考えられる。農機具のレンタルなどを市が主導で検討してはどうか。相談に訪れた女性の就農希望者が就農に至らなかった原因は何か検討していくことが必要であり、JAとの連携が欠かせない。改善にある本市への移住希望者の件もあるので、事業自体の見直しが必要と思う。具体案が示されていないが、次年度に期待する。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査 井上 一平	内線番号	7618

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き家族協定の締結に向けて取り組みを行いつつ、本市における農業の実情に基づき、農業に関連した女性が活躍する事業に取り組んでいく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家族農業経営について、経営方針や役割分担等、家族みんなが働きやすい就業環境を整備するため、家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	家族経営協定の新規締結数 年1件以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	家族経営協定の認知度が低いことから、引き続き農政課カウンターにリーフレットを設置し周知するとともに、新たに農政課のウェブページにおいても周知を行う。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
新規で認定した就農者2名に対し、それぞれ家族経営協定を締結した。 今後、家族で営農を考えている相談者に対し、パンフレット等を用いて説明をした。		3	男性2名 男性1名/女性1名		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
家族経営協定の新規締結数 2件		0件	0件		
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 家族経営協定の新規締結数が年1件以上のところ、2件達成した。 (課題・問題点) 新規就農者だけではなく、既に家族経営をしている農家へもアプローチする。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、就農相談があった際に制度の案内をすると共に県農業事務所等の関係機関と連動し、働きかけをする。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画の数値目標を上回る結果である。 (課題・問題点) 家族経営協定の認知度向上に向けたさらなる取り組みを検討すること。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
担当者と推進委員会に同じ。新規締結の数値目標が上回っており、職員の努力がみられる。		
改善策等の提言		
引き続き、就農相談者に随時説明することで家族経営協定についての認識が高まり、女性の就農者の増加にもつながると考える。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	主査 金木 直美	内線番号	6242

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	茂原市社会福祉協議会と連携を図り、周知や活動支援を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	高齢者がいきいきと健康的に過ごすためには、フレイルを予防し、社会参加や運動の機会等を持つことが重要です。そのため、生活支援コーディネーターと連携し、地域で自主的に行われている、通いの場の把握や情報提供を行います。また、自宅から近い場所で通えるよう、男女問わず簡単に実施できる「もばら百歳体操」の実施を地区社会福祉協議会へ委託するとともに、通いの場を増やすため、「もばら百歳体操」を新たに実施する団体へ補助金を交付します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 年2,500人以上 補助金交付団体 年2団体以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・通いの場が継続して運営できるよう茂原市社会福祉協議会や生活支援コーディネーターと連携し情報提供・支援をする。 ・新たにもばら百歳体操を実施する団体に補助金を交付する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
茂原市社会福祉協議会にもばら百歳体操の業務委託を行い、もばら百歳体操の普及・啓発に努めた。11月には、アスモにてもばら百歳体操10周年を記念して発表会を行い、各団体の活動の紹介をした。また、配布用DVDの新たな作成をした。		704回	10825人		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 10,825人見込 ・補助金交付団体 2団体		・2,226人 ・0団体	・4,090人 ・0団体		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
2,407		1,907		2,010	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 活動の発表を通して他団体との交流ができ、活動の啓発ができた。 (課題・問題点) 活動が継続して行えるよう生活支援コーディネーターが支援し、希望者に情報提供し参加者の増加に努める。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き茂原市社会福祉協議会と連携し、もばら百歳体操の普及・啓発に努める。 新たにもばら百歳体操を行う団体を支援し、補助金を交付する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画の数値目標達成に加えDVDの作成という新たな取り組みをした。 (課題・問題点) 参加者数を継続して確保できるよう活動支援を継続して行うこと。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
取り組みの成果は出ている。新たなDVDの作成をした。		
改善策等の提言		
活動を継続的に行えるよう引き続き努力されたい。移動が不自由な方のためにも、各福祉センターや自治会館でも実施できるように工夫されたい。各自治会で行えるよう検討されたい。 (参考意見) 百歳体操に関して、回数や参加人数は社協に関してのみか？自主グループとして社協に移行される前から長年行っているグループに関しては、どのように考えているのか？また、補助金を受けたグループがどのくらい続いているのか？通いの場合は百歳体操のみではないと思うが、他の団体に関してはどのように把握し、支援しているのか？		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	係長 松崎 澄宏	内線番号	6217

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	関係機関と協働し、障害福祉サービスについての周知活動を行っていく。また、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく各種サービスについては、質の高いサービスを引き続き維持できるよう取り組んでいく。

P L A N (計 画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者(児)と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を実施することで、性別にとらわれない介護に対する支援の推進を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等に係るサービスの支給決定を適切に実施する。

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
内容			回数	参加者数(男女別)
各サービスの総延利用者数 5,757人(R4実績 4,826人)				
<内訳>				
サービス名	延べ利用者数	実利用者数		
居宅介護(R5.3～R6.2)	1,241人(1,203人)	131人(113人)		
短期入所(R5.3～R6.2)	511人(349人)	83人(64人)		
同行援護(R5.3～R6.2)	155人(154人)	16人(16人)		
児童発達支援(R5.3～R6.2)	1,129人(746人)	145人(107人)		
放課後等デイサービス(R5.3～R6.2)	2,076人(1,900人)	204人(195人)		
日中一時支援(R5.4～R6.3)	508人(362人)	55人(45人)		
移動支援(R5.4～R6.3)	130人(112人)	20人(17人)		
			R3(参考)	R4(参考)
			R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		
562,460	644,387,711	624,887,000		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)		
	相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談支援事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用に繋げ、社会全体で支える介護の推進を図ることができた。 (課題・問題点) 障害福祉サービス等の周知を引き続き行う必要がある。		

A C T (改 善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	関係機関と連携し、制度の周知に努め、障害のある方、その家族等の希望にあった障害福祉サービスが利用できるよう取り組んでく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
 去年実績を上回る利用につながられた。
 (課題・問題点)
 サービスの更なる周知に取り組むこと。男女その他の内訳を入れ見える化する。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

各サービスの取り組みは昨年実績を上回る利用があり、向上が認められる。サービスの提供は増えているが、希望する回数を利用できているか不明である。年間一人平均の利用回数が少ないと思われる。

改善策等の提言

改善欄にあるとおり、引き続き制度の周知を図るとともに、多様なニーズや家族の希望に合ったサービスが提供できるよう取り組まれない。同行援護者の男女比や年齢層、利用者の男女比なども見える化すると、更にきめ細やかな支援ができると考える。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり		
事業名	障害者(児)の相談事業の充実及び社会復帰の促進	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備		
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実		
担当者職氏名	係長 松崎 澄宏	内線番号	6217		

ACT
(改善)

R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲

引き続き、各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を適切に行う。

PLAN
(計画)

第4次計画に定められた具体的取り組み計画

障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供、助言、支援を行うとともに、地域生活支援センター等の関係機関と連携することで、相談支援体制の充実を図り、障害の有無や性別にとらわれない、社会復帰に向けた支援の促進を図ります。

第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標

R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①障害者(児)の各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を行う。
②長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、社会福祉士、保健師等により、身体・知的・精神・児童、全ての障害に対応した電話・窓口相談、家庭訪問等の支援を実施する。

DO
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)

内容	回数	参加者数(男女別)
令和5年4月から令和6年3月までの延べ相談件数 7,118件(R4実績:7,444件)		
【内訳】 長生地域生活支援センター 5,184件(5,804件) 生活支援センターつくも 354件(288件) 障害者相談員 373件(334件) 障害福祉課職員 1,207件(1,018件) (保健師・社会福祉士等)		

R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額		R6予算額	
14,412	14,488,920		14,419	

CHECK
(評価)

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)
全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用につなげ、社会全体で支える介護の推進を図ることができた。
(課題・問題点)
引き続き相談支援体制の充実を図る。

ACT
(改善)

担当課による、次年度における取り組み予定

「基幹相談支援センター」、「医療的ケア児等支援のための協議の場」の早期設置に向けた検討を行う。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 継続した相談体制を取れている。 (課題・問題点) 男女その他の内訳により見える化すること。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
障害福祉サービスに必要な情報の提供や支援と関係機関との連携のなかで、相談件数の増加は評価できる。社会復帰がどの程度進んでいるのかが見えない。		
改善策等の提言		
社会復帰に向けての支援や施策を更に検討されたい。支援者の内訳や男女比を見える化して支援体制に活かして欲しい。相談内容の傾向についての分析を実施して、どのような傾向があるのか明示し、課題を探る必要がある。基幹相談支援センターと医療的ケア児童のための協議の場設置に向けて検討するだけでなく、実現することを望む。R5年度取り組み計画に家庭訪問も入っているが、結果が記されていない。どのくらい実施されたのか？		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	主査 岡田 真澄	内線番号	7244

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また女性や若者への支援を強化しながら自殺対策における取り組みを強化していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	精神保健福祉士等による「こころの健康相談」や、保健師による「健康相談」、各種健(検)診を通じて、さまざまな悩みや精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携を図り、こころの健康づくりの支援に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	こころの健康相談 年12回 48人以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・こころの健康相談を年12回実施し、相談者が抱える悩みに対応し必要な機関に繋ぐ。 ・ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺対策について理解を深め、自殺の危険を示すサインに気づき適切な機関に各日に繋げる人材養成を図る。 ・幅広い世代に対しこころの健康に関する啓発資材を配布し、ストレスの対処法やSOSの挙げ方、相談先を周知する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①職員向けゲートキーパー養成講座		①2	①男12 女28		
②ゲートキーパーに関する出前講座		②0	②0		
③こころの健康相談		③11	③男6 女25		
④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導		④315	④女315		
⑤思春期教室でのチラシ配布		⑤5	⑤男女比不明		
⑥自殺予防に関する啓発(新人職員メンタルヘルス研修)		⑥1	⑥男10 女11		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
こころの健康相談 11回 31人(見込)		11回31人	11回30人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
505		400		726	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 性差やライフステージに応じた保健事業を実施することにより、事業参加を通して対象者を各相談機関に繋げることが出来た。自殺予防に関する各Webサイトを通じて相談に繋がるケースもあり、周知が進んでいる。 (課題・問題点) ここ数年のコロナ禍において、本市の自殺者の傾向は中年男性に多く、全国の傾向(女性、若年層の増加)とやや異なるが、今後も引き続き、関係機関と連携し総合的な自殺対策が必要である。また、Webサイトを活用した相談情報等のアクセス数も増加傾向であることから、相談を受ける側のスキルアップの強化が必要と考える。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。またWebサイトを活用した更なる周知や、相談を受ける側のスキルアップをし、自殺対策における取り組みを強化していく。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 継続した支援・取り組みができています。 (課題・問題点) 相談を受ける職員のスキルアップによる体制強化に取り組むこと。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
着実に計画を進めている。ゲートキーパーに関する出前講座が実施できなかった。		
改善策等の提言		
ゲートキーパーの出前講座が0回というのは、ゲートキーパーの役割や内容がほとんど知られていないと考えられる。今後の広報や周知の必要性を示している。自殺予防に関する啓発研修と共に引き続き拡充されたい。 相談を受ける側のスキルアップをし、支援体制を強化されたい。 (参考意見) 出前講座が0になっている。もっとPRして是非、行って欲しい。要請を待っているだけでなく、高校や自治会などにアピールしても良いのではないかな。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 田中 大輔	内線番号	7462

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。 あわせて、避難所運営においても女性の直近動員職員を配置する等、体制づくりの構築を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	地域防災力の向上を目的に、男女のニーズの違いを考慮し、地域防災訓練の実施や避難所運営に関して、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①地域防災訓練において、女性や要配慮者への配慮や、男女両方が参画する避難所運営を実施する。
②備蓄品の更新及び拡充において、男女のニーズの違いや、要配慮者に対応した物品を考慮する。

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①茂原市地域防災訓練を実施。(鶴枝地区:南中学校、鶴枝小学校 計2ヶ所) ②女性や乳幼児の避難を想定し生理用品や紙おむつ、液体ミルク等を配備。また、賞味期限を迎える液体ミルク等については更新を行った。	1回	400名 (男性300名・女性100名)		

	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		
4,017	2,820	4,941		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 2月に鶴枝地区にて、地域住民主導型の茂原市地域防災訓練を実施。高齢者から幼児まで男女を問わず多くの住民が参加し、様々な防災資機材の組立方法を学び実践。更に自衛隊の炊出し訓練では率先した女性の参画が見受けられた。また、災害備蓄品についても男性、女性の意見を取り入れ更新を行っている。 (課題・問題点) 引き続き男女問わず様々な意見を取り入れながら、女性に配慮した避難所づくりを行っていく。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も住民参加型の防災訓練を実施し、地域の防災力向上に努める。また、女性の要望も受け入れやすいような直近動員の配置、女性に配慮した災害備蓄品の配備に取り組んでいく。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画に基づいて取り組んでいる。 (課題・問題点) 訓練の内容についても男女共同参画を意識した配置で取り組むこと。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
計画通りに実行できており、成果が得られている。		
改善策等の提言		
引き続きの提言になるが、地域防災を担う高齢者、女性、小中高生の育成を計画されたい。ひとり一人が自分を守ることを学び、日々話し合うことが大事と考える。女性や学生の意識を高める工夫を望む。高齢者だけの所帯や障害者の避難計画なども具体的に取り組むことを望む。避難所運営において女性の直近動員職員の配置は難しいと思う。地域の担い手、組織を作ることが不可欠。各地域とも年1回の訓練は必要と考える。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 田中 大輔	内線番号	7462

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	新規自主防災組織の設立を促進するため、相談を随時受け付けるとともに、出前講座を実施する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	平常時及び災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、活動の活性化を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	自主防災組織の新規設立 年5団体以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①自主防災組織のリーダー育成研修会を開催し、女性の参加を促す。 ②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。 ③出前講座時に自主防災組織の運営への女性の参加を促す。

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①自主防災組織のリーダー育成研修会を実施。 ③出前講座の実施。 災害対策コーディネーター茂原女性部会の活動支援。	1回 20団体 8回	21名(男性19名・女性2名)		
	R5年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	自主防災組織の新規設立	2団体	2団体		
	R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		
	2,774	1,087	1,886		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 土曜日、日曜日を中心に、自主防災会、自治会、母親、中学生を対象として出前講座を開催したため、女性も含めた多くの地域住民の参加を得られた。また、災害対策コーディネーター茂原女性部会の開催数も増え、更に活動の幅も広がっている。 (課題・問題点)新規自主防災組織の設立。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	新規自主防災組織の設立を促進するため、出前講座等を活用し、地域全体の安全を担う自主防災組織の必要性について周知に努めたい。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 研修会への女性参加が少なかった。 (課題・問題点) 研修会への女性参加増加に向けた新たな周知方法や取り組みの検討を行うこと。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
研修会への女性参加が少ない。			
改善策等の提言			
地域の防災体制ができていなければ有事に対応できないことをもっと周知すべき。既存の自治会単位で自主防災組織の設立の必要性についての講座の開催をして啓発していくなど工夫を望む。 (参考意見) ①自主防災組織の結成や運営体制の整備に関する指導や助言を行う。 ②自主防災組織が必要とする財源確保や活動費に関する支援と、担う人材の募集や育成を支援する。 ③自主防災組織同士の連携促進や地域単位での連絡協議会の設立に関する支援を行う。 ④災害時に対応するために必要な資材や設備など女性目線で再整備する。 ⑤災害時、被害者への救済活動に女性の参加を促し、地域社会で協力し合う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 丸 康憲	内線番号	7256

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	地域の防犯活動を男女が共に担うため、防犯組合・自治会等との連携や、市公式ウェブサイト・広報もばら・生活安全だより(旧防犯ボックスだより)等を活用した広報活動により、参加の促進を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女が共に担うことにより、地域防犯力の向上を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

- ①自主防犯団体や防犯組合と合同パトロールを実施する。
②自主防犯団体を育成し、活動の助成をする。
③自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。

D O (実施)	R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①自主防犯団体や防犯組合と合同パトロールを実施し、必要な指導・助言をした。 ②自主防犯団体及び防犯組合を対象に「防犯研修会」を開催し、地域防犯活動の充実を図った。 ③防犯組合の活動内容の充実を図るため、補助金を支給した。 ④自治会回覧を活用した「生活安全だより」で、複数の自主防犯団体の育成及び結成の促進に努めた。	防犯研修会	31名(男性30名 女性1名)		
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R5予算額(千円)	R5決算見込額	R6予算額		

511

479

583

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、人流が増し犯罪認知件数は微増傾向にあるが、5年間の推移と比較すると減少傾向にあるため。 (課題・問題点) 「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」には、市民の防犯意識の向上が重要となるため、防犯研修会には男女を問わず参加していただく必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	地域の防犯活動を男女が共に担うため、防犯組合・自治会等との連携や、市公式ウェブサイト・広報もばら・生活安全だより等を活用した広報活動により、参加の促進を図る。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 研修会への女性参加が少なかった。 (課題・問題点) 研修会への女性参加増加に向けて新たな周知方法や取り組みの検討を行うこと。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
研修会への女性参加が少なすぎる。		
改善策等の提言		
昨年に引き続きの意見だが、パトロールに参加できなくても女性の意見を聞くことは必要。会議に女性の参画を。男女が共に担って地域防犯力を高める方策を検討されたい。防犯活動にワンダフルタイムの活用が有効と考える。定着しているワンダフルタイムに犬の散歩や健康ウォーキングをと再度呼びかけ、地域コミュニケーションの活性化につなげ、犯罪のない地域づくりを望む。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	係長 鶴澤 史樹	内線番号	7244

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	各種健(検)診について、広報やウェブサイトをより活用して、あらためて健(検)診の必要性を訴え、受診方法等について周知を図る。男女共同参画に資するべく、可能な限り受診勧奨の機会を増やし、行動経済学を受診勧奨策に取り入れるなどしながら、特に女性特有のがんや受診率の低い男性に向けた啓発を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進します。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女共に生涯健康でいられる社会づくりに努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・がん検診の周知・啓発回数 年1回以上 ・がん検診の受診率 肺がん20%、胃がん15%、大腸がん25%、子宮がん35%、乳がん40%
D O (実施)	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①4月1日時点年齢40歳の者に対して、市が行う各種検診の個別勧奨を実施。 ②前回の検診受診者に対して、受診票を自動的に送付して受診勧奨。 ③子宮頸がん検診:4月1日時点年齢20歳の女性及び25・30・32・34・36・38歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ④乳がん検診:4月1日時点年齢40歳の女性及び45・50・55・60歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ⑤「各種検診のお知らせ」を自治会配布。広報・公式ウェブサイト・SNS・公共施設でのポスター掲示により周知。 ⑥他事業や出前講座等の機会を活用した身近な場所での女性がん検診の啓発及び健康教育の実施。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①～⑥計画通り実施できた。特に、⑤InstagramやFacebookを活用し、周知活動の幅を拡大した。 ⑥乳幼児相談・健診事業に併せて、啓発資料を配布。小学生を対象に、がん教育の授業を実施。女性の健康週間に合わせて、啓発資料の展示や啓発物の配布を実施した。					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・がん検診の周知・啓発回数 25回(⑤⑥) ・がん検診の受診率 肺がん10.4%、胃がん3.5%、大腸がん7.2%、子宮頸がん12.8%、乳がん16.7%(令和6年1月末時点)		・5回 ・肺がん10.5%、胃がん3.9%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.4%、乳がん17.8%	・20回 ・肺がん10.4%、胃がん3.7%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.8%、乳がん18.8%		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
89,328		84,695		88,264	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍での経験を踏まえ、適切な感染症対策を講じながら、可能なかぎり積極的に啓発や受診勧奨を実施し、さらに健康教育等においても成果を上げることができた。 (課題・問題点) 短期的には、男女共にコロナ禍で低下した検診の受診率が依然停滞気味であり、中長期的には、受診率の増加や健康教育等を確実な成果に繋げるために継続的な取組みが重要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	各種健(検)診について、従来の周知方法に加えてSNSの活用機会を増やすなど幅広い活動を展開する。健(検)診の必要性や市の検診を受診するメリットを強調するなど、行動経済学を取り入れた受診勧奨策により周知を図る。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 数値目標の数値には満たない部分もあるが、受診率向上に向けた取り組みができていた。 (課題・問題点) 受診率向上に向けて周知・啓発方法の工夫をおこなう。受信結果の男女その他の比率をかせ見える化すること。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
推進委員会に同じ		
改善策等の提言		
推進委員会に同じ		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	保健師 永野 真穂	内線番号	25-1725

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。 ・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行います。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携し、支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①妊娠から出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する。 ②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う。 ③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)							
内容		回数	参加者数(男女別)				
①助産師相談		①12回	①女16人/男7人/児8人				
②ままのわ、ままのわミニセミナー		②15回	②女103人/男3人/児99人				
③ままのわオンラインセミナー(離乳食編・卒乳編)		③0回	③0人				
④出前講座		④10回	④172人				
⑤いきいきサロン・長寿会		⑤17回	⑤女264人/男134人				
⑥思春期教室		⑥10回	⑥808人(保護者・教員含)				
⑦定例栄養相談		⑦12回	⑦女30人/男25人				
⑧定例歯科相談		⑧12回	⑧女15人/男8人				
⑨電話		⑨随時	⑨910件(推計)				
⑩面接		⑩随時	⑩925件(推計)				
⑪訪問		⑪随時	⑪459件(推計)				
⑫オンライン相談(個別相談時)		⑫0回	⑫0人				
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)		
R5予算額(千円)		R5決算見込額				R6予算額	
569		456		484			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各種事業共に、感染症対策を講じたうえで事業を実施した。新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行した影響か、電話相談件数が減少し、面接での相談件数が増加している。母子保健の各種教室については、コロナ禍では減少したが、感染状況に応じ定員数を増員したことで、年々増加傾向にある。また、電話や訪問などで連絡が取れない要支援者に対し、SNSを活用し、比較的若い層へのアプローチがしやすくなっている。 (課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症の影響により、妊産婦から成人・高齢者含め、あらゆる世代の人々が孤立しやすい状況となっており、不安が高い傾向にある。また、コロナ禍により健康面だけではなく、経済困窮などが浮き彫りになる家庭を支援する機会が増え、他機関と連携する機会も増えた。オンラインで事業に参加した参加者には、今後も電子申請サービスを活用していきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。 ・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る。

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 取り組み計画を概ね達成している。 (課題・問題点) ままのわ・ままのわミニセミナー等の男性参加を促す方法を検討する。男女その他の比率が無いものは加えて見える化する。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
様々な相談やセミナー等が開催されており、評価に値する。男性の参加が少ない。		
改善策等の提言		
これだけの事業を展開して、現状の保健師の人員で足りているのか。SNS・オンラインも活用してもっと利用できるようにすると同時に、保健師の負担軽減を図る必要もあると思われる。人員の増員は必要ないのだろうか。回数、男性参加の増加に向けての更なる取り組みを望む。「ままのわ」の名称変更は早急に検討されたい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	栄養士 麻生 雅代	内線番号	25-1725

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	次年度は、3年任期の1年目であるため、茂原市の健康課題を理解し健康もばら21の施策に沿った研修会を開催する。更なる推進員の知識と技術の習得に努める。推進員の親睦を図りながら、男性推進員の活躍の場と男性教室参加者の増加を目指し、活動が自主的に行えるように支援する。研修会6回、普及活動8回を予定。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努めます。健康生活推進員により、児童から高齢者までさまざまなライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健康教室等の開催回数 年110回以上 ・健康教室等の参加者数 年1,100人以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①減塩と糖尿病予防の知識を習得し、調理教室やデジタルコンテンツ(レシピサイトクックパッド等)を通し市民に普及する。 ②運動習慣の定着から生活習慣病を予防する正しい知識をウォーキング教室や室内運動教室等で普及する。 ※①②中央研修会6回/年、普及活動8回/年実施予定

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ (無)）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①市の健康課題を捉え、減塩と糖尿病予防の知識を身に付ける調理研修会や運動習慣定着のための運動研修会を実施 ②普及活動として、ノルディックウォーク教室、室内運動教室、栄養調理教室、食育教室等を開催（打ち合わせや準備を含む） ③市広報誌掲載の「今夜のおかず」レシピを市内スーパーへ配布、塩分測定会実施、市内企業への食育出前講座を実施（打ち合わせや準備を含む）		①6回	①従事推進員数216人 （男38人、女178人） ②参加者数171人 （男63人、女108人） 従事推進員数359人 （男60人、女299人） ③参加者数228人 （男31人、女197人） 従事推進員数61人 （男14人、女47人）		
		②35回			
		③16回			
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・健康教室等の開催回数 13回 ・健康教室等の参加者数 399人		・26回 ・391人	・27回 ・448人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
490		490		440	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 茂原市の健康課題から、減塩と糖尿病予防のための調理教室やウォーキング教室を開催し普及に努めた。また、幅広い世代への食育の普及として、市と包括連携協定を結んでいるスーパーへ「今夜のおかず」のレシピを配布、家庭の汁物の塩分測定会を開催するなど健康知識の普及に努めた。 (課題・問題点) 教室への参加者は、継続参加が多い。新規参加者を増やす事が課題である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	3年任期の2年目であるため、茂原市の健康課題を理解から実践に移せる主体的な研修会を開催する。推進員が、更なる知識と技術の習得を自主的に行えるよう事務局はサポートしていく。 研修会7回、普及活動11回 自主研修会(不定期)を開催予定。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
任期初年度で目標には及ばなかったものの4割程度は達成している。
(課題・問題点)
回数・男性参加の増加に向けて更なる取り組みをすること。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

企業への食育出前講座という新しい試みをしている。1年目ではあるが、継続している推進員も多いのでは？もっと工夫して多くの教室を開催できたのでは？

改善策等の提言

事業の新規の参加者が増えるように、要検討を願う。回数、男性参加の増加に向けての更なる取り組みを望む。参加者のリピーターの中から推進員に従事する者を増やすことも視野に入れて、新しい参加者が増えるよう活動の内容を広報もばらに掲載してみるなど、さらなる周知を工夫されたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	主査 石澤 ゆり子	内線番号	7972

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	幅広い年齢層を対象とした市主催教室の開催と、レッツ・エンジョイスportsや他のスポーツイベント等で体験会を開催し、スポーツをするきっかけづくりに力を入れていく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努めます。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女が共に参加しやすい機会の確保に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 年140回以上 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 年8,000人
D O (実施)	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①茂原市スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」に基づいた事業を開催し、年齢や性別を問わず誰もが気軽にスポーツを行える機会を構築する。 ②競技性のあるスポーツに限らず、健康づくりや体力づくりを主とした事業を実施する。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
各種スポーツイベントの開催・実施 ①R6.3.2もばらタッチバレーボール千葉県大会開催 ②R5.6.17体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2023」実施 ③R5.6.17、7.2、7.30、8.7、8.12、9.3、9.23、10.21、11.23、12.3、R6.1.15、2.18レッツ・エンジョイスports、R5.11.19、R6.2.18レッツ・エンジョイウォーキング実施 各種スポーツ・レクリエーション教室の開催 ④パラスports教室開催 ⑤茂原スポーツフェスティバル茂原ジュニアバレーボール教室開催 ⑥キッズ運動能力向上教室		①1回 ②1回 ③14回 ④10回 ⑤1回 ⑥9回	①206人(男75人、女131人)②15人(男6人、女9人) ③835人(男306人、女529人) ④420人(男女別不明) ⑤222人(男40人、女182人)⑥175人(男女別不明)		
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 36回 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 1,873人		・6回 ・350人	・32回 ・1,291人		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
7,353		6,918		6,614	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 台風被害の影響によりイベント延期や、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後ではあるが、イベントの規模縮小など対策を講じた上で、多くの事業が開催・実施できた。また、参加者アンケートにおいても高い満足度であるという回答を得ることができた。 (課題・問題点) スポーツをするきっかけづくりとなる取り組みが必要と考える。気軽にスポーツを体験できる場の提供を行っていきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	レッツ・エンジョイスportsや他のスポーツイベント等で体験会を開催し、引き続きスポーツをするきっかけづくりに力を入れていく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)
目標には及ばなかったものの4割程度達成している。
(課題・問題点)
更なる教室等の開催に取り組むこと。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

昨年より参加人数・回数が増えている。

改善策等の提言

男性の参加者が増えるよう工夫を望む。イベントとして、楽しく愉快に参加できる企画を望む。今後も性別年齢に関係なく、気軽に体を動かすきっかけづくりを継続して欲しい。もっとPR活動を！
(参考意見)
スポーツ教室の開催を各地域で行えないか。体育館での開催が多いと思うが、参加したくても移動手段がない人もいるかと思う。また、パラスポーツ教室は高齢の方、病気により体が不自由になった方も楽しめるので、各地域にある各福祉センターや公民館などで開催の検討をして欲しい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	保健師 今井 明子／主事 関谷 友花	内線番号	25-1725／7243

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲
	引き続き、助産師を2名体制とし、妊娠期よりきめ細やかな相談支援を行い、子どもを望む助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努め、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	産前産後サポートセンター(母子健康包括支援センター)を中心に、安心して妊娠・出産・育児ができるように切れ目のない支援を行います。また、妊婦健康診査の自己負担金の一部助成のほか、子どもを望む家庭に対し不妊治療費の一部助成を行い、経済的な負担軽減を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 91.5%以上 ・特定不妊治療費助成決定件数 年25件以上
	R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①妊娠届出時に助産師または保健師が面接し、安心して妊娠・出産・子育てができるように切れ目のない伴走型相談支援を行う。 ②特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限に助成する。 ③男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限に助成する。 ④男性不妊検査に係る費用について、1万円を上限に助成する。 ※②～④については、千葉県特定不妊治療費助成事業の助成承認を受けた者が助成対象となるが、特定不妊治療の保険適用に伴い県の助成事業が終了となることから、本市での助成事業についても令和5年度で終了となる。

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①妊娠届出時の助産師または保健師による全数面接:425件 妊娠後期面談:29件、妊娠後期電話相談:65件 ②特定不妊治療費助成:0件 ③男性不妊治療費助成(精巣内精子改修術等)助成決定件数:0件 ④男性不妊検査費助成:1件					
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 92.1% ・特定不妊治療費助成決定件数 1件		91.4% 61件	91.0% 25件		
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額	
9,290		7,204		8,370	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①については、妊娠後期のアンケートをはじめ助産師による電話相談や面談を充実させたことで、さらにきめ細やかな相談支援ができるようになった。また、支援に必要な妊産婦については、関係機関と連携して支援し、安心して子育てができるように体制を整えた。②については、特定不妊治療の保険適用に伴い助成事業は令和5年度で終了となるが、それまでの不妊治療の経済的負担の軽減に努めることができた。 (課題・問題点) 伴走型相談支援として、新たに出産・子育て応援プランを作成し、妊娠後期のアンケートや助産師等の面談を行うことで、より安心して出産・子育てできるよう支援体制を整えることができた。次年度のこども家庭センター設置により、さらに児童福祉と一体化した切れ目のない支援の体制づくりが望まれる。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	母子保健と児童福祉が一体的に支援できるようにこども家庭センターを設置し、より子育てに困難を抱える家庭に対し、切れ目なく、漏れなく支援できるように努める。特に母子保健については、伴走型相談支援を充実させ、身近に相談機関として機能できるようにするとともに、子どもを望む夫婦に対しては正確な情報提供に努め、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援していく。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 取り組み計画を概ね達成している。 (課題・問題点) 切れ目のない更なる支援に取り組まれない。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
着実に計画通り事業を遂行している。保健師の活動は素晴らしいと思う。		
改善策等の提言		
引き続き、切れ目のない支援、正確な情報提供に努められたい。子ども家庭センター設置によりなお一層の充実を期待する。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	保健師 石井 梨奈	内線番号	25-1725

A C T (改善)	R4年度末における次年度における取り組み(予定) ※R4年度報告書より再掲 ・3回1コースで4コース実施(平日2コース、土曜日2コース)実施する。1回目:出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他、2回目:沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他、3回目:授乳・ミルク作り体験編…母乳育児の話、調乳(ミルク作り)体験、ママ・パパの質問回答コーナー、「笑っている父親になろう」講義 他 ・次年度は、1回目を12組→16組、2回目8組→16組、3回目9組→12組へ定員数を増やし、より多くの希望者に子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していく。
---------------------	---

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術を習得する機会を提供することで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」を実施します。開催にあたっては、父親も参加しやすいよう土曜日にも実施します。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50% ・ママ・パパ教室のパートナー参加率 70% R5年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 母子保健法第9条により、市内在住の妊婦およびその家族に対し妊娠・出産・育児について正しい知識の普及を行う。 ①1コース3回で全4コース実施する(平日開催、土曜開催それぞれ2コースずつ)。 1回目:出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養の話(歯科衛生士・栄養士) 他 2回目:沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパ“力”アップミニ講座 他 3回目:授乳・ミルク作り体験編…母乳育児の話・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの抱っこ・ふれあい遊び体験 他 ②定員数を増やし、より多くの希望者に子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していく。 (1回目を12組→16組、2回目8組→16組、3回目9組→12組)
--------------------------	--

D
O
(実施)

R5年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ (無))				
内容		回数	参加者数(男女別)	
・実施回数は計画通り。定員については、1回目16組、2回目16組、3回目12組としたが、R6年2月開催回のみ予約数が多く20組で実施した。 ・実施内容 1回目(出産準備編)…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養の話(歯科衛生士・栄養士) 他 2回目(沐浴・妊婦体験編)…沐浴体験、妊婦体験、パパ“力”アップミニ講座 他 3回目(授乳・ミルク作り体験編)…母乳育児の話・調乳(ミルク作り)体験、先輩パパと先輩ママとのグループワーク、ファザリングジャパン講義「笑っている父親になろう」 他 ・3回目については、3クール目より先輩ママ2組(育児サークルもばびより1歳前後のお子さんがいる母)に参加してもらい、4クール目には先輩パパ(1歳前後のお子さんがいる父)も1組参加いただきグループワークや質疑応答を実施した。		1コース3回を4コース実施(計12回)	1回目: 男43人/女53人 その他(妊婦の子など)1人 2回目: 男54人/女60人 その他(妊婦の子など)3人 3回目: 男40人/女44人 その他(妊婦の子など)2人	
R5年度の数値成果		R3(参考)	R4(参考)	R7(参考)
ママ・パパ教室の初妊婦参加率 89.2% ママ・パパ教室のパートナー参加率 87.3%		24.2% 83.3%	54.3% 83.8%	
R5予算額(千円)		R5決算見込額		R6予算額
129		54		98

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 初妊婦参加率、パートナー参加率ともに数値目標を超えた。特にパートナーの参加率は大幅に増加がみられた。パートナーにも妊娠期の健康管理に関する知識の提供と育児に関する学習機会の提供ができた。妊娠・出産・育児に関わりたいパートナーが増加していると考えられ、3回目について、すべての回で父親になることへのピアサポート支援として先輩ママ・パパとのグループワークを導入したことも、パートナー参加率増加の要因にもなったと思われる。また、後期より、1歳程度のお子さんを持つ先輩ママ・パパから、直近の育児体験談やパートナーとの産前産後の関係性についての経験談を話してもらい、最新の育児情報の提供する機会を設けた。 (課題・問題点) 3回目授乳・ミルク作り編については、これまで参加組数を12組としていたが、1回目や2回目の定員は16組であることから3回目のみ参加できない方もいたため、3回目も定員を16組としたい。
-------------------------------	--

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 ・3回1コースで4コース(平日2コース、土曜日2コース)実施する。1回目(出産準備編):妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他、2回目(沐浴・妊婦体験編):赤ちゃんのお風呂入れ体験、妊婦体験、パパ“力”アップミニ講座 他、3回目(授乳・ミルク作り体験編):母乳育児の話、調乳(ミルク作り)体験、先輩ママ・パパと話してみよう、講義「笑っている父親になろう」 他 ・定員をすべて16組とし、より多くの希望者に子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを夫婦で妊娠期から整えることができる支援していく。
---------------------	--

C
H
E
C
K
(
評
価
)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)
数値目標を大幅に超え新たな取組も取り入れている。
(課題・問題点)
今後も継続した支援に取り組まれない。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

確実に取り組みが行われており、初妊婦参加率・パートナー参加率の数値目標も達成できている。特に、初妊婦参加率は数値目標を大幅に上回っているうえ、前年との比較でも大幅な伸びとなっている点は取り組みの成果として高く評価できる。

改善策等の提言

参加希望者が多くなった場合の体制も検討し備えることが必要と思う。引き続き、きめ細かい事業の展開を望む。
(参考意見)
地域ごとに妊娠期から子育てのサポートができる組織作りを推進して、地域で支えることが出来たらいいと思う。